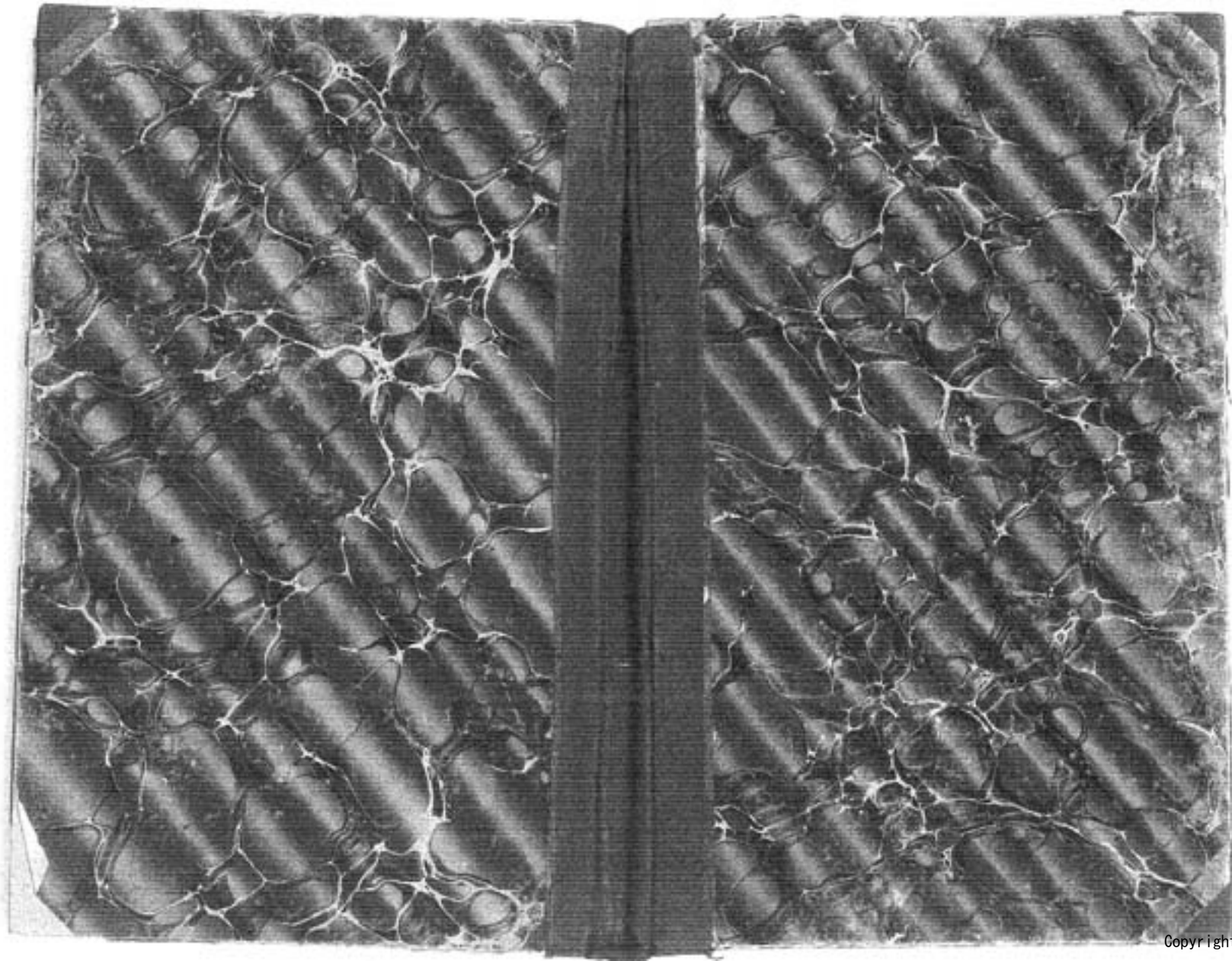


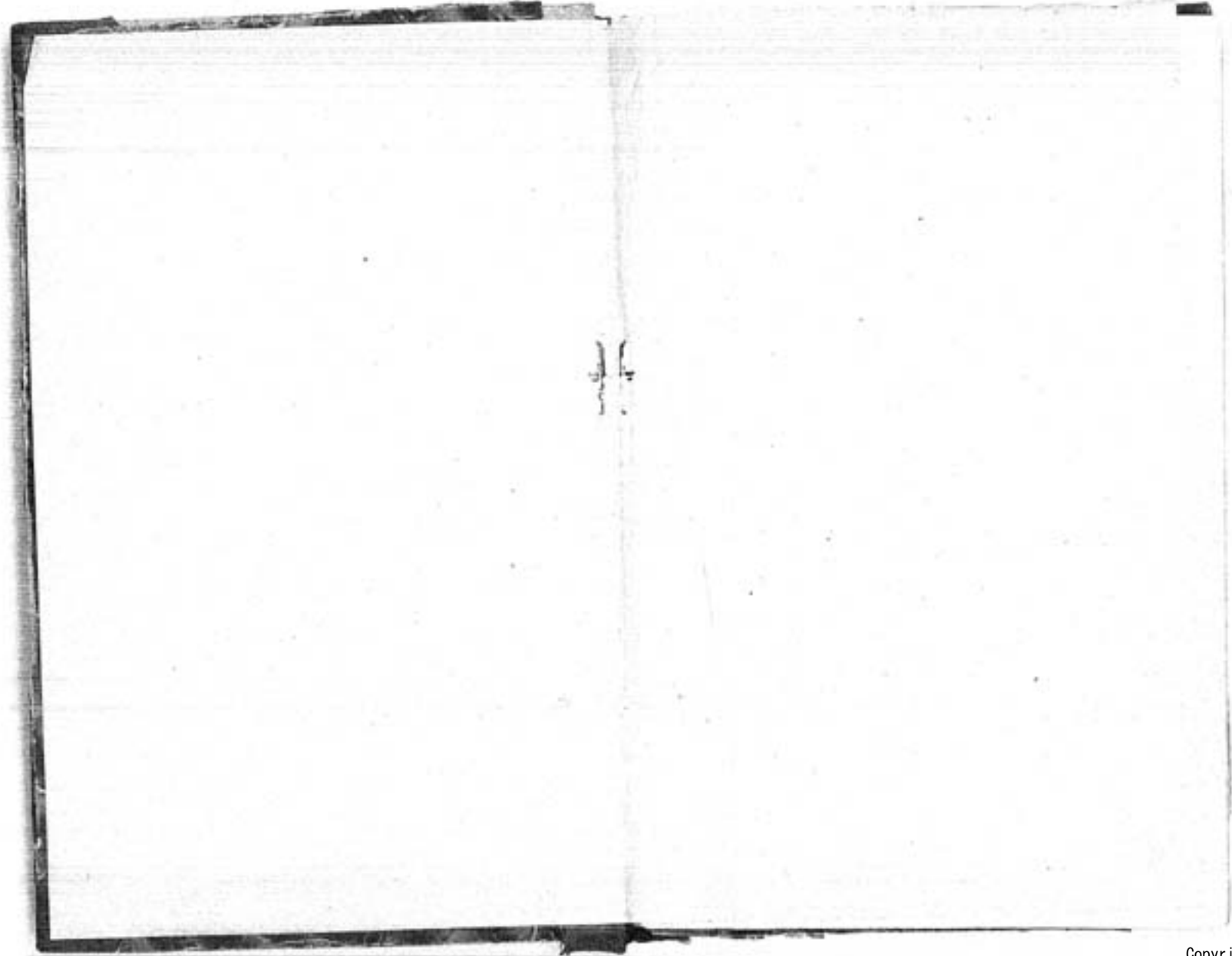
12

12

M.24. 8.06
~ 11.20

うきよのたび





浮世のくび

巻之二

四

八月六日*

午前七時起+例の如く=除へて掛置るは後
 午飯1時あり+同り+午後2時+又台時+如電休島
 午後4時+夕飯+計+文+時+海+會+朝+區+と+の+次+
 病人+此+上+評+に+述+す+事+は+13勤+余+共+日+余
 素+病+患+す

 一、家一、笑+後+入+り+山+崎+定+信+凡+興+也+来+氏+送+来
 百+料+事+業+生+に+り+余+政+治+十+月+の+平+和+寺+大+堂
 其+築+造+師+林+十+子+部+ハ+雇+ハ+来+ル+少+子+也+此
 淺+い+森+原+酒+色+ハ+世+の+氏+也+地+ハ+美+ト+ル
 十+辰+野+日+下+路+ハ+芝+草+野+名+凡+二+西+境+十+子+部+ハ+幼
 ト+ハ+走+場+要+ハ+強+迫+コ+外+日+の+境+況+對+シ+テ
 後+新+保+氏+余+の+信+ヲ+余+ハ+朝+川+富+氏+ヲ+シ+テ+ハ+撲+撲
 ヲ+獲+ル+川+富+氏+世+大+意+ヲ+好+シ+意+致+シ+余+映+原+河
 一+ハ+町+の+余+新+保+氏+ヲ+別+宅+ニ+移+シ+以+テ+忍+耐+力+を
 十+一+律+生+欠+け+テ+解+日+等+ノ+小+別+ヲ+奉+ル+事+ノ+難
 247路+時+新+保+氏+深+除+信+也+以+テ+其+名+に
 十+余+の+見+聞+リ+十+時+子+對+歩+出+ル+ニ+除+田+信
 3坑+~~川~~十+一+時+中+新+保+氏+別+宅+余+の+跡+也+
 入+ル+一+ノ+信+別+宅+ニ+移+ハ+テ+十+二+時+中+富+氏
 加+リ+學+友+ト+共+之+ヲ+使+ル+テ+後+二+時+ノ+時+一+時+ノ

夕食、後山暗登候氏、堂・社・快哉ス
徳河室、仰、外出セントシテ果ツス、机ヲ食
ヒ心事録ヲ記シ、山下雲出、同基ヲ見テ
十二時鐘ヲ祈ク、コト余等、寫真成人
チ子氏モ不出來次、余ヲ余等モ唯掃
形炭拵杖ス、夏シツ、四舎ケ、病ノハ、ソウ
ナリ、進水、要、迫ラス、山下、秀、流、河、分
野、天、度、爛、燦、タ、ア、ハ、ス、柳、草、見、批
評、百、出、喧、噪、ナリ

八月十日(月)〇

午、前、七、時、起、キ、八、時、油、本、初、寺、へ、赴、キ、是、日、
午、飯、時、新、書、撰、意、ヲ、終、リ、テ、夢、ハ、夢、集、
巻、應、ツ、ガ、ク、僧、待、テ、受、テ、蓋、シ、度、寺、ノ、傍、ハ、シ
等、僧、アリ、且、ツ、時、序、島、ハ、ツ、以、テ、五、可、柳、枝、映
レ、上、等、ナ、リ、土、時、ハ、新、知、ル、寺、在、等、一、僧、下、碑、
号、出、テ、同、ク、寫、真、ト、一、ガ、ハ、シ、止、ソ、レ、ト、其、雷
同、ス、余、下、ヲ、得、ス、シ、テ、之、ヲ、讀、ミ、テ、初、寺、ノ、ケ、ハ、余、以、時
寺、ト、在、テ、學、校、へ、星、出、セ、カ、ル、ヤ、シ、得、ス、甘、藷、コ、
余、寫、真、ノ、能、ク、シ、テ、甚、ク、勉、メ、ル、九、時、迄、山、崎、氏、余
ヲ、引、テ、新、書、ヲ、見、シ、余、銘、ヲ、三、僧、ノ、ヲ、收、圖、写
ヒ、道、上、シ、テ、寫、真、ノ、入、リ、テ、二、機、ヲ、短、ク、ケ、家、ニ
行、ク、銀、幣、ヲ、ナ、リ、掛、テ、寫、真、ヒ、テ、再、ニ、寫、真、ニ、テ、リ、カ、ク
十二時鐘ヲ祈ク

八月十一日(火)。

午前十時起中山崎氏と共に西へ出立し、
後待り室へ7時頃戻り、四時頃迄は海後
第1=從子又夕飯、後山下復北に急ぎ、
2時頃山下今夜今宵四人御宿り、
通し宿し、今宵不知火の火山下急ぎ、
勤い余史、日、從子宿り、自り甲、
山下日、不多少得、可成、
為スカ余等已、30分、余日、
計5分、山下急ぎ、日、
知り、上層、就、
已、
勢、
册、
子、

八月十二日(水)。

午前十時起中山崎氏と共に西へ出立し、
暑出、
ノ、
ト、
電、
檢、
浴、
尻、
意、
ハ、
日、
懸、
懸、
就、

其、表、余、後、の、傾、ア、ル、ハ、行、ト、ス、リ、ハ、キ、	手島	65	60	70	75
其、諸、種、事、の、ス、ル、ハ、伊、合、ト、現、況、ス、ヘ、キ、	真守	80	60	60	50
即、ハ、余、也。其、事、行、ノ、部、落、ノ、以、テ、ス、ル、ハ、真、水、ト、	尾家	70	65	60	55
5、等、ノ、ス、ル、ハ、キ、即、ハ、余、也。其、滑、壁、俗、ヲ、見、テ、	良清	70	70	65	75
ヲ、ス、ル、ハ、山、下、ト、現、況、ス、ヘ、キ、即、ハ、余、也。地、誌、ニ、	孔讓	70	65	60	40
伊、合、ト、真、水	知謀	70	65	65	80
伊、合、ト、山、下	自重	85	65	70	75
伊、合、伊、東	仁愛	80	80	70	60
真、水、ト、山、下	周到	75	60	80	70
真、水、ト、伊、東	藤蔭	75	80	65	75
山、下、ト、伊、東	温知	85	65	75	50

性炭分析表

	伊東	山下	真水	伊合	榎敏	友誼	交際	暖心
曹術	90	75	85	60	75	80	80	80
松蔭	90	60	88	70	75	80	75	70
淳才	85	75	80	60	80	80	75	70
世才	70	65	65	80	80	80	70	70
謝瑞	80	75	65	70	60	60	50	70
公藏	65	75	70	50	60	50	50	90
胆力	70	65	65	75	60	60	50	75
夜快	75	70	70	65	80	80	85	95
熱心	70	75	80	60	75	75	70	70

八月十四日 (金) X

今日思切の朝露のハクオヤのあはれ
露十時愈シカク他三人一寫せ也加筆
別用筆モナハテ顔面・從多ス画ニ持在
八人・胸ヲ寫(名ヲ又テ)アハレ曰

筆(句)色(句)遠い鳴海の層糸中
遠い午鳥の声を我
付 長井の世のふるあはれハせしよ
さやけさかきる後ハ不世の厚

あさ 朝顔の干の乾ぬるハあつた
あと持雨のふる世もありけん
王 王(イザ)ニ人(帯)信(史)成(り)
出(ま)若(し)と(悪)く(成)哉

梅 山城の露のたろる匂ふは
乳珠名も春のあはれ
花(四) 花の名之をて若情の氣情水
一乳を波以人のあはれ

松 鷲の角に之を同。や代まて
大津の雲のたそかてらじ
影 物云如露の太光香を有明の月
の思ハせ誰かたかた

二時ヨリ一人ハ出ニ出セリ

画院行之子厚主の露に厚主ハ段ヲ借光
カレ老人の都ヲセヌカテ東ト思ヒカカレ
正午至十時時論任来ヲ余ガ附・後
息ハテ面ヲハテ顔面・從多ス画ニ持在
十時・還ト出ニ持(注)カテ此ノサ余セホト
カテ餘ニテヌカレテカレハ近頃ハ一閉口
カテ此の時情此事、ロウ・谷ハ赴テ永都
叔貧人・世代・縁説、寺ノ路也、人カテ
婦ト出テ 野巻ニ夕飯・後堀川ノ別荘
カテ河ノ岸ト云ヌ画ニテ種カ有テハ信
カテ十一時露に照リ河合ハ朝露ト出カテ
秋成・供也十二時露家ノ如ク露ニ乾ク

八月十日(土) x

午前の昨夜、物に踊らぬ保氏余、川島城物陳列所及び画工田村氏の活字の
為つて東北集一同の他、二人の早出の
余、先、郵便局に出かけ、家財の整理一人
事、凡、書斎、像、動、書、昨日、高、地、果、つ、て
この肉、昔、昔、昔、久、以、て、の、果、つ、て、は、
ま、い、り、に、置、き、の、こ、い、余、往、時、の、余、口、言、は、
以、て、余、田、舎、漢、十、果、多、果、多、人、士、州、の、利、益、し
一、と、作、る、て、は、云、つ、意、心、つ、ル、ハ、ハ、ル、ハ、川、島、城
物、陳、列、所、の、館、中、に、足、本、の、甚、巧、な、美、麗、な、
實、人、の、手、作、の、意、造、の、三、階、建、築、の、
二、三、室、川、島、の、計、画、の、成、果、の、由、を、執、行、す、る、
巧、妙、な、折、衷、の、用、を、以、て、之、の、活、字、の、活、字、
の、書、斎、を、一、件、画、廊、に、田、村、氏、の、活、字、の、活、字、
を、之、り、左、に、置、き、之、に、を、つ、て、改、ハ、サ、リ、
は、い、の、余、の、新、保、氏、と、事、柄、一、器、具、の、成、果、
を、(館、内) 寫、真、す、る、た、る、代、價、に、
高、十、圓、の、ま、い、り、の、保、氏、の、車、を、送、り、下、
京、式、の、赴、き、其、式、の、土、地、を、送、り、
展、開、の、新、人、集、の、赴、き、之、を、多、し、余、の、新、保、氏、
と、成、果、の、料、地、成、果、を、入、り、食、す、と、し

多少、雨、の、降、り、の、二人、の、新、保、氏、の、以、て、午、の、時、
に、は、保、氏、の、如、才、の、如、く、夕、餐、後、新、保、氏、
來、り、又、遊、路、の、為、つ、て、余、の、言、は、る、山、下、の、全
一人、家、の、出、り、田、村、氏、の、北、座、へ、赴、き、遊、路、
の、間、の、遊、路、の、得、喜、の、二十四、年、の、俗、音、声、の、
下、に、肉、つ、つ、り、に、落、ち、又、昔、日、の、歌、の、遺、戀、
の、只、只、只、太、丈、と、云、つ、て、又、音、声、の、如、く、
精、の、遊、路、の、勝、一、正、一、等、の、路、大、家、
油、の、殿、サ、レ、置、き、之、の、リ、リ、運、水、屋、の、
テ、一、酒、の、酒、の、一、等、の、飲、み、詰、り、爽、快、
の、如、く、一、時、十、二、時、度、の、一、時、の、

八月十六日

午前十時起、余、名残、三つへ登り、
四方、景色、眺望、東山、全景、及、温泉、山、
、望、生、この、今日、山、崎、定、候、氏、休、暇、之、
在、宅、へ、免、痛、ト、控、伏、合、始、ノ、行、合、花、へ、送、
へ、キ、買、物、ヲ、洞、へ、シ、テ、出、テ、行、キ、又、今日、余、
別、用、事、ナ、ケ、レ、バ、鑑、画、ヲ、可、ト、シ、テ、時、ヲ、費、ナ、レ、又、
山、崎、ト、今、夜、總、高、倉、ヲ、開、キ、テ、流、流、ヲ、ナ、シ、テ、資、
力、乏、ク、シ、テ、決、マ、テ、マ、テ、夕、刻、に、到、リ、船、邊、ヲ、
東、ヲ、イ、ク、見、目、ヲ、出、立、ル、ト、イ、テ、深、ク、別、ノ、措、ニ、下、
女、等、ニ、交、ヒ、來、テ、別、ノ、措、ニ、意、入、通、ス、蓋、ニ、エ、テ、學、せ、
ッ、家、ノ、投、箱、ス、モ、毎、年、此、以、テ、金、等、運、中、に、如、ク、古、
親、ト、殆、ト、家、人、等、ノ、ト、シ、モ、ハ、ア、ス、互、ニ、別、ノ、措、
ヲ、意、ニ、テ、林、別、ノ、措、ト、シ、テ、今、夜、十六、日、ヲ、享、都、ノ、同、
同、セ、テ、所、ノ、山、ニ、火、ト、点、ス、オ、一、束、ノ、火、ト、大、火、字、山、ト、
シ、次、北、へ、マ、カ、テ、妙、字、法、字、船、歌、ハ、舟、同、
山、ト、ス、羊、ノ、鈴、鳥、居、今、一、ツ、ノ、忘、レ、リ、控、伏、四、時、
ヲ、一、ノ、火、へ、シ、テ、夜、に、生、野、今、夜、大、風、ト、火、ノ、聲、
ハ、カ、ル、ト、大、雨、ヲ、ク、キ、リ、ケ、レ、火、ト、セ、サ、レ、ス、僅、カ、
舟、同、山、ニ、シ、テ、舟、ノ、歌、ヲ、点、シ、リ、テ、大、一、町、ノ、餘、計、
云、フ、花、女、等、今日、晴、キ、衣、飾、ヲ、四、時、止、メ、ツ、
ノ、カ、ク、唯、々、痛、々、余、等、ニ、仲、立、入、リ、シ、テ、ノ、コ、ノ、内、

舟同山、火、ト、痛、ク、テ、跡、ハ、四、時、ノ、人、ト、ナ、レ、リ、余、
等、ハ、船、へ、立、掛、從、テ、ス、内、訃、保、身、來、房、余、等、
休、止、刻、大、雨、ヲ、犯、シ、テ、カ、リ、ク、余、等、飲、ミ、テ、
シ、テ、大、雨、ノ、為、ニ、船、城、山、崎、氏、馳、走、シ、酒、邊、
ヲ、始、メ、テ、余、等、痛、飲、快、樂、興、甚、ク、深、シ、ト、
至、リ、全、所、ヲ、宴、シ、御、禮、シ、テ、
余、ガ、ロ、ゴ、サ、シ、ル、冊、久、

い、つ、か、と、取、テ、思、へ、ど、今、更、子、ノ、と、
名、残、ノ、措、ス、ル、人、
婢、等、忍、ビ、声、ヲ、歌、フ、モ、
唯、目、ト、立、ツ、テ、名、残、措、い、云、々、
余、等、金、錢、ニ、餘、裕、ナ、ク、他、ニ、必、要、ノ、清、ナ、ク、ス、ル、ハ、
余、等、ハ、必、ス、テ、ナ、ク、及、リ、當、所、に、備、在、セ、ル、ハ、レ、



八月十七日(月)

一歩渡すに出立コヘト云フ意氣込ニモ打ル
一今朝霧の雨ハズ止ルナリ四人打テハヒコ
ハ時中ヌテ一ヨク至ル寺至来リ趣リク重水
ト山下ハ氣ツカハテ神戶ヘト向ヒ余ハ伊余トハ大津
ノ向フ迄吹テ付ル山下ハ東ルハ但シ余ト伊余ト
但シ様ヲナリタモ妙ナリ醫ノ醫同士判ノ判
同士ト云フ沢ダモナカラガ急ノ南ケト妙ナリ寤ダ
モ婢等モ余ヲ以テ沈黙自筆ノ人トシ余偶々
諧謔ヲ吐ルナリ伊余カレニモ似合ヌフト云ヒ
テアリ。ト思フコト伊余ト余ト同一至我ノ様ニモ
ルナリ。寤ダハ四人ノ向ヒ既ニ是非共與
同直ニテ来遊ラセフマシテ云ヘコト本年小
野ノ島ノ同伴トナシ来ルヲ以テナリ。走ノ南宿ダハ
余等ノ非常ニ親ク打テ前ヲシマシ。ハ館ニシテ
在ルヲ以テ深ク喜ビ辰ノ風見ニナリ
余ハ大津トイハレ。此ノ山下氏ヲ信ハシ部氏居
ルハ新カハナリ余ノ言ヲ計テ向フ余大
新ニテ所ナリ。一時新カハナリ授テリ何来テハ
予余ニ地ハ寺ノ上ヲヲ論復シ。又伊余ノトナ
ニモ復ク喜ビテ。三時三十分ハ大津祭伊吹山
ヲ経テ厚巻井ノセ。テ日暮ニナリ

画

小

三

然

然

山



何

寺

山

山



寺

山

寺

山



山

山

山

山

(カト)

(カト)



山



五條通
 大谷
 妙法院
 曹王社
 三十三堂
 大像通
 七條通
 東河寺

鴨山(北ノ山)
 (東ノ山)

夜間在。人ナリ又夏百。冷。計。至。州。花。ル。カ。カ。
此。書。ハ。ス。リ。答。レ。甚。多。現。余。同。列。車。一。人。
留。入。リ。テ。外。ハ。多。心。査。入。リ。テ。考。テ。撰。書。
カ。ニ。終。ル。也。當。ラ。ス。ナ。ホ。一。人。カ。テ。飛。ハ。様。イ。也。
受。テ。カ。レ。ハ。滿。君。十。分。ハ。注。意。ス。下。身。ハ。中。
持。別。ハ。注。意。ス。ト。思。矣。此。ハ。ナ。リ。中。ハ。
久。味。要。テ。ド。モ。リ。静。同。也。マ。ダ。外。ト。コ。リ。
落。シ。サ。リ。ガ。フ。コ。リ。以。テ。余。ハ。彼。陸。シ。四。面。
靜。声。ノ。コ。リ。間。ハ。カ。リ。テ。取。場。ニ。着。キ。十。四。時。
五。十。二。分。ナ。リ。巴。魯。士。頂。式。キ。見。ユ。ル。カ。思。ヒ。
カ。全。ク。朝。露。深。ク。シ。タ。尺。ハ。分。寸。五。尺。内。出。テ。夜。
成。テ。致。シ。タリ

八月十八日(火)

七時五十分大坂着。全三十五分。蓮子着。子田氏。
別荘。伊奈。同。テ。車。夫。ト。モ。ヨ。ク。知。リ。派。レ。フ。ハ。叶。
無。子。利。田。宅。へ。着。キ。打。柄。切。込。ハ。様。須。候。用。テ。
リ。三。時。頃。切。込。ハ。バ。バ。持。リ。居。テ。出。テ。行。キ。玉。へ。
リ。余。ハ。幸。シ。見。ル。ニ。十。高。キ。丘。ノ。上。ニ。立。テ。西。海。ニ。
向。テ。望。氣。流。通。テ。取。ツ。エ。合。中。ノ。コ。シ。新。キ。丈。
ニ。カ。フ。十。考。慮。ニ。テ。馬。鹿。ト。ナ。ス。余。ハ。仕。事。ト。キ。
先。テ。海。ニ。入。リ。テ。身。ノ。情。ハ。切。切。テ。兩。見。ニ。テ。逢。ヒ。
作。後。醒。リ。運。セ。ン。ガ。為。テ。正。午。迄。ハ。快。ク。安。
眠。セ。リ。正。午。コ。リ。ナ。マ。テ。カ。レ。バ。白。紙。ヲ。思。フ。日。記。ス。
マ。テ。ナ。シ。テ。路。リ。最。ビ。テ。午。時。三。時。頃。テ。各。
々。撰。録。候。リ。但。リ。甚。ク。先。テ。余。ト。シ。向。ヒ。ニ。テ。テ。
五。時。雨。着。シ。余。ハ。孔。也。余。ハ。先。ト。別。荘。在。也。
ノ。庭。ニ。テ。テ。着。テ。向。取。ツ。エ。合。ノ。基。石。コ。リ。テ。着。
候。シ。夫。レ。テ。テ。撰。録。候。リ。中。ニ。一。ハ。海。ノ。岸。
親。テ。テ。テ。余。ハ。先。ト。點。点。ニ。テ。着。テ。テ。テ。テ。テ。
歩。リ。テ。撰。録。候。リ。余。ハ。寫。生。画。ヲ。撰。録。候。リ。但。リ。
ハ。ホ。ト。ノ。感。心。也。テ。テ。行。向。常。在。沙。羅。木。也。テ。撰。
録。候。リ。撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。
撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。
撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。撰。録。候。リ。

會ハ解頭所ニ切替去ル條取次ト出ニ
海水濱出ル一落、後加藤ハ食了トシテ
ル食終リ又佐氏ノ説ヲ述ルテ急テ
説、又佐氏ニ望ミテテ余ニ呼ビテ
ニ決意ス、汝有ル事ハハテ、ソノ序、余ハ
別天龍ノ所針ノ故樹ニ、彼ハ龍ノ跡ヲ
見テ、演説ヤリ中、卓河ノ水ト云ハレテ、次
テ取次ト見テ、トテ別花下ノ日指、草倉
ハ赴キ、再ヒ茶一杯ヲ飲ミテ、

八月十九日

轉動ヲ始メ、起ル多ク、醫道ニハ、其ニ生
存ノ賢ヲ行ハル分カス、何レトモ、士ニハ、ソノ
亦、時宗ノ業、シテ、九時半、時宗ノ業、直ヤ、田
邊ヲ、是ノ如ク、世ノ如ク、女ノ子、是ノ如ク、以テ、是
ワリ、素ニ、速ハ、詠中ノ、秋同ニ、應テ、素ハ、余
アリ、然レテ、取次、對スル、心ハ、獨リ、ソノ、バツ、ソノ、
キ、ソノ、勇氣ハ、出テ、サレ、ソノ、今ニ、時、田、中、ハ、
上野、アリ、出立セン、目的ナシ、直ニ、素ヲ、出テ、是ノ
車ヲ、龍ノ、龍ノ、田中、アリ、ソノ、一、世、忠、命ニ、
勉メ、最中、リ、余ハ、大ニ、素ト、上レ、ソノ、上、ソノ、
モ、ソノ、火、燒、耐ニ、並、ソノ、強、イ、ソノ、次、テ、龍、木、ハ、五
ノ、舞、リ、ニ、三、ノ、舞、リ、ソノ、瀧、ニ、索、ソノ、内、村、ソノ、
山、草、是、也、ニ、道、ソノ、是、ハ、ソノ、ソノ、下、ソノ、
境、ハ、ソノ、山、草、是、也、ノ、口、調、是、年、ヨリ、下、索、ハ、レ、可、見
カ、ル、北、政、ド、レ、ニ、道、ソノ、力、道、是、也、ニ、道、ハ、ソノ、
一、時、半、日、所、ソノ、去、リ、本、御、四、丁、目、ソノ、果、物、ソノ、
ソノ、取、次、ソノ、三、索、何、ノ、飛、テ、江、原、ソノ、是、也、今、日
是、非、ハ、豈、石、ハ、同、リ、也、ト、ス、ソノ、終、ニ、ソノ、流、落、シ
ソノ、余ハ、左、索、也、ソノ、益、索、ソノ、ソノ、多、ク、同、ソノ、
飲、ソノ、丸、糖、ハ、索、ソノ、龍、又、余ハ、神、保、何、ソノ、
事、物、ソノ、州、ハ、ソノ、行、影、ソノ、後、何、ソノ、會、ソノ、

道橋。着金三赴、余金三泊、余三、
 二回、余三、余三、余三、余三、
 筋、ハツル、ガ、ト、上、等、待、通、サ、セ、ハ、梅、
 快、ト、シ、今、日、ハ、旧、俗、ニ、テ、市、街、ノ、繁、華、
 中、ノ、第、一、舞、臺、金、三、ハ、テ、ハ、十、時、正、
 ノ、時、刻、ニ、テ、ハ、三、時、正、ノ、時、刻、ニ、
 十、二、時、正、

余三ニ云、可、打、ハ、湯、花、ノ、夜、合、
 存、外、ニ、表、シ、テ、ナ、リ、余、思、フ、ニ、十、時、正、
 ノ、時、刻、ニ、テ、ハ、好、夜、果、ヲ、来、テ、
 二、三、時、正、ノ、時、刻、ニ、テ、ハ、
 余、三、人、ガ、多、ク、余、三、
 十、二、時、正、ノ、時、刻、ニ、

八月二十一日、
 在、所、在、日、記、ハ、マ、ダ、
 止、ム、



在 御 中 ノ 要 事 件

- (一) 祖母、父母、龍康親戚、龍康
- (二) 長次郎、源次郎、肺結核
到底全治、次セ、ナ、リ
- (三) 右、名、大、守、ヨ、ク、行、ヒ、ル、余、三、
テ、神、漢、文、ヲ、ナ、リ
- (四) 梅、女、氏、活、ヒ、狐、ノ、宝、珠、
妙、ト、シ、テ、マ、ダ、
- (五) 佐野友三郎、了、方、ヒ、一、
了、方、ヒ、大、了、方、
- (六) 山下ノ、老、母、盲、目、ト、ル
- (七) 文、作、三、件、
 - (一) 山、歌、ニ、行、キ、才、養、父、母、
ノ、一、家、ノ、人、ニ、
式、ハ、別、ニ、表、シ、ス、
引、テ、取、ル、酒、高、
ノ、興、ハ、ノ、粟、田、
ノ、大、
ノ、城、
ノ、宮、島、
ニ、
テ、
梅、快、
ト、
場、
下、
方、
ノ、
目、
ヲ、
集、
メ、
シ、
古、
城、
ニ、
引、
テ、
取、
ル、
福、
荷、
社、
ニ、
睡、
ル、
ハ、
牛、
餅、
ト、
酒、
ヲ、
食、
ヒ、
給、
ナ、
リ。

養父芝生沈黙ハ賢ナラズ。養母同眼疾
 ル才女ニ似タリ。才妻静傲貞操アルベシ。
 女末初カレクヲヨカラス。二弟共ニ愚ナラザル
 ベシ。有江信実忠政ト号セシ。村井一
 家ノ人余ヲ深ク信セル由ナリ。三雄死
 深ク余ノ山形行ク喜ベリ。余モ僅待テ
 喜ベリ。

- (九) 捕川良策ト号シテ彼レダシバム矣
 彼レ獨敗セリ
- (十) 乃復身陽一身ヲ針ニ付キ余卓後ヲ吐
 父可ト稱ス
- (十一) 余, 弟, 才妻, 母, 四人佐氏泉ニ赴ク
 ヤ快ナリ
- (十二) 三雄父ト女戦將回余率ニ仲裁ノ
- (十三) 三藩府ヲ汗ヲ試シテ彼レ氣加血レ
 ダノ一擲敗ナリ
- (十四) ナベ先生余ノ身上ノ丸ヲ投テ余ニ
 レテ喜ニアラス
- (十五) 母才女ニ関レテ云フ可クアリ
- (十六) 伊野母ノ孝性, 厚長, 品ヲ爪揮テスル
 一ニ味ニ果シ果タリ

- (十七) おきく婆ノ娘津空病ニテ盗ト客面シ
 テ孝ヲ盡リタル由甚クシ
- (十八) 食ニ魚ノ肉トアルハ体裁マツキ為味
 ノ善ヲ不知, 酒亦不良一ノ大快ナレ
 只ク父母トラ喜テスル一ノ愉快アルニ
- (十九) 米沢ニ美女多シ而シテ余ニ徳ハルマノ
 アルヲ聞カズ米沢ノ美女ヲ命スルニ
 ラズ
- (二十) 米沢ニ少年多シ而シテ余ニ慕フモノアルヲ
 聞カズ米沢ノ少年ヲ命スルニ
 是ラス

以上二十件ナリ。

九月廿日 (月) 丁

赤坂、旧道、那珂氏へ泊ス、コノ山中
ニテカ亭藏大石氏変蹟、高ノ尖ヒ道標ト
ナリ

九月廿日 (火) 丁

午前三時宇治島笑、十二時上野看〇

PP 第七月十日東京ヲ出テ、ヨリ今日ニ至ル
テ日ノ間スル六十有一里程字ニ七百令里
北竹南陌、東奔西走、夕浪花月ヲ眺ミ、
晨ニ京新ノ花ノ景ヒ、故郷ノ山川ニ俗塵ヲ送
ヒモ今ハ再ヒ濁世煩悩ノ火宅ニ歸リ、玉塵
天窓ノ巷、七難ハ花ノ間ニ入リ (コラテ祇
園拈念・鐘ゴーン)、人生五十年願ハハ半ヲ
ナス、管々役々、齷齪トシテ名利ノ名、狂走
シ間々餘裕アルハ則チ竹竿ニ危酒宿岡ヲ畫
テ面ヲ表テ、豈自ラ顧リテ其鈍才ヲスニ止
ケラナヤ。嗚呼六十年間、遊遊ハ一睡ノ夢ト
リ今日又如ク夢海ニ入ル。他年夢成ハ日コソ
見ハコソ亦夢ハカ。魔夢ハ次ニ瑞夢ヲ以テシ。
平ハ次ニ不平ヲ以テス。循環轉々宇宙ノ大
勢ヲ見ハ吾人又一塵ノミ PP

早田子控行スルニ平田イハナクテ豫備ヨシ余モ
イツニテ元氣ナリ蓋シ年一年ニ余ハ平田ノ控行ガ
面白クテ蓋シ胸宇ハ(多ク)藏スルバナリ去テ
15 供、矢島等ヲ誘ヒ家ニツイテ江原来リテ
在リ。即チ大ニ喜ヒテ酒宴ヲ南ヲ(コレヲ
先キ食ハル、後決テ行ハリ)田中、那珂次テ到ル
巴ニテ眞小英夫、内村盛造印、兩人来リ
大一座ナリ、江原快醉諧謔頗ル佳
ク衆相飲シテ樂シ笑フ十時一合飲シ江
原等ヲ止メテ且テ飲ム巴ニテ三人倒レテ
而シテ卧スリ何時ナルヲ知ラズ夜半江原
醒メ惶然一書ヲ残シテ去ル又一奇行
ナリ

九日(水)丁

昨日早朝ヨリ雨霽ルトシテ降ル暑気甚ニハカク
余ハ室内、整頓ニ従テ又原稿等ヲ書ク法
紳大等モ林業十部氏来リテ飲沐ニ浴ス余ノ
室ヲ訪ヒ大ニ喜ビ午ニ及テ午時ニ時余ハ山
岡ヲ訪テ不在トシ去テ中山ヲ訪ヒ行状一時ヲ
歩次ニ内村ヲ訪ヒ桑畑地方ノ修治トス
内村ノ妻君孕リ来春表ハ当年末子ヲ産ム
トシヤ早、早イモナシ、産生モウ父様ニハナ
レバ。夕食ノ馳走ヲ受テ酒トシ置憾無ク
家ノ山岡、櫻井、中山三人来リ櫻井氏
名ハ恒次郎 勉氏ノ子トテ賜年季授メテ
眞少年以テ聞ニ今年ヨリ福ヲ中寄メテ年二十
性華表ヲ好ニ従テ修極ナレ然ニ受テ角才子
ナト云フ三氏ヨリノ後兄ト号シテ出カケ島
又トテ料理店入り足ト飲食ス久クツツテ是
亦ノ飲酒ハ中ノ面白ク見ハ事料アリテ多クモ
飲マド余ハ之ハニ飲ミタルヲ兩人微醉気
味ヲ家ニヨリ置テ此井トニ時中ナリ

十日(木)丁

早朝の原稿。従可ス。澁井三印来リ一身
所置。我々余の依頼スル所アリ。一時リヨリ
去ルテ。バツキテ山下麓に於テ。余ハ甚々
喜ビテ。在テ。久ク。面分ト云ヒ互ニ。旅中
ノ物。出シタル。ハ。興中々。冬キ
ヤス。山下ハ。未練。京都。花。疎シ。追
懐。頻リナル。モ。カ。余モ。思ハス。引込。マシ。共
ニ。京都。園。花。花。浪。花。月。費。下。キ。奈。良。
花。ヲ。伏。シ。セリ。午。時。三。時。山。下。リヨリ。黒。ト。云フ
米。一。裁。惟。師。来リ。テ。互。互。ツ。ガ。テ。宮。島。轉
ミ。時。来。ル。日。今日。琉。球。ヨリ。归。京。ヒ。ト。日。暮
後。原。野。ヲ。過。リ。テ。出。カ。キ。髯。ス。リ。小。林
原。見。ル。ト。岡。田。部。長。ヲ。逢。ヒ。中。山。ヲ。過。リ。テ
終。ニ。ビ。ル。池。ニ。入。リ。テ。亭。主。夫婦。ト。浮。世。下
シ。ナ。シ。十。時。家。ニ。リ。ヨリ。一。時。史。室。ニ。就
ク。今日。マデ。モ。テ。休。日。段。ハ。終。リ。ヌ。ア。モ
ウ。休。暇。アリ。テ。モ。是。友。々。カ。如。ク。思。ハ。ル。不。知
余。癖。目。カ？

十一日(金)

九時マテ原場ヲ洞へ登投ニ履野以下
ヒ工場ヲおたすしハ纏マツス正午コリ家ニ
リ原場ヲ認メ山岡式松葉ヲ訪シ彼カ休
中上岳園ニ於テ実験シタル浮世沈江ナ
ク面白シ四時山岡歸ル日暮後余ハ平
田ヲ訪ル原場ヲ示ス平田欠テ可ト評マ
リ次テ那珂ヲ訪フニ彼何カ不都合ヲ
示シテ三時ニ歸ル後歸附シテ去リ
家ニ帰リテ休息ノ後暫ク出カテ若
クモ同リテ至ル所ニ米ヲ食フタリ余
何ソ飲食セバナト考ヘバ腹ハ空クナ
ズバウヲ得スシテホクト家ニリ十一
時迄ニ此ナリ

十日(土) 〇

正午ニ在校家ニ明テ原稿ヲ書ク日暮
完當来リ七時ニ出テテテテテハハハ
完當ト出テ余ハ小林ノラテテ原稿ヲ送リ
九時家ニ明テ十時ヨリ足ト中食ニ至リ牛肉
ヲ飲ム余ニ詳加京都ノ独針ノ足ニ送ス蓋
余ニ送ルニ詳復テ自ラ往事ノ愉快ノ想
像ニ引キ起シ聊カ余ノ未練ヲ春成セシ
ルニ足ハ深クノボセ上リテ是非共京都ハ遊
ニ行カシテ熱心ニテテテテ可買シ十二時
家ニ明テテテテテ

十三日 (日) 〇

今朝昨夜ヨリ大雨未ダ晴ル九時迄
ト出テ、雑書ヲ讀ミ次テ午ニ至ルニ時
史記ヲ出テ芝ノ飯田河ノ木子芝ノ了テ
次ニ山口喝天ヲ了テ家ニ歸リ、物ヲ讀ミテ
夫レヨリ水係何ニ於テ買物ヲ稱ヘ次ニ松
崎亭ニテ西洋料理トビールヲ行ヒ家ニ
リテ休息スル可クハ(眞水至リ共ニ読ミ
スルニ時ヲ十時ト更ル時ニ十一時
寝テ了ス

十四日 (册下)

早朝登接尾野(逢ハシ)ヲ果カズ車ヲ鹿^シ
目^シ銀^リ至ル尾野子^在ナリ下^降、田島等ト
徑^法ニま^シツ日^々、裁判所^へ赴キ書本
好^師逢^テ建築^ノ地^ハ海^水来^リテ^是リ^共大
ニ研究ス書本中^ノ才^ヲナ^リ揚^ヒ載^ルル^ニコ^ト
ナ^リ并^者ノ馳^走ス^後以^テ翻^シ換^ル内^ノ
京^交府^ニ至^リテ^是ル^書本^氏、亦^画ニ^シ中^ノ
宜^シ一^ル業^内シ^テ是^レ午^時四^時車^ヲ鹿^シ
シ^テ家^ニ入^ル足^リ今日^ニテ^一大^學科^ノ試^験
ヲ^畢ル^ニ成^績甚^ク良^シカ^ラサ^リト^云フ^五時
終^末、如^ク山^園ヲ^訪ル^事ナ^リ。那^瑪、
田^中、中^山、中^島、梅^井、余[、]足[、]六^人ナ^リ
酒^肴、馳^走ス^ル後^向出^立長^シ梅^井年
僅^カニ^十才^ナル^ニ於^テ世^情ニ^面ス^才子^ナ
余^ニ對^シテ^是レ^屬人^ヘマ^サシ^クリ^ト家^ニ入^リ
好^師逢^テ寫^シテ^送ル^事ナ^リ

十五日(火)の事

八時半起キ九時由余、西ノ原、陸奥大庄、
別印、赴キ見ル。地町ニ未定ニテ、乃モ
全ク整ヒ取ツテ余、甚ク失望シテ十時半家ニ
归ル。佐藤、深ニ所来、汚彼、年ニ十カニ十
未女子ト肌ノ觸ス。甚ク虚傳トナリ、微
毒カ、ハ、惘、ハ、バ、シ、午、食、後、午、睡、續、人、ソ、
中ニ余、建、原、吏、長、術、吏、等、ヲ、獲、シ、買、夢、
ト、瑞、夢、ト、見、ル、等、中、ニ、一、瞬、時、間、モ、尤、ニ
ハ、透、リ、カ、リ、流、後、夕、食、ヲ、終、ル、ト、
中原、来、リ、見、ト、相、携、ヘ、テ、去、ル、?...?...?
余、林、ト、共、シ、数、分、神、谷、村、近、ク、在、
小、由、ヲ、舞、ヲ、刺、シ、表、中、政、後、改、席、ハ、赴、
久、シ、ヲ、十、八、日、ニ、テ、北、常、通、自、カ、リ、シ、歸、宿、言、
明月、三、日、此、カ、異、物、ト、シ、終、リ、切、通、ニ、至、
江、和、勝、以、ル、鳥、又、ニ、入、リ、カ、モ、抑、ル、故、リ、
ト、知、ル、ニ、更、テ、取、復、食、踏、踏、然、ニ、事、ヲ、
披、テ、腕、子、ヲ、解、キ、家、ノ、門、ヲ、閉、リ、
ニ、終、ル、時、ニ、十、一、時、也、ナリ

十六日(水) 丁

早朝家ヲ出テ博物教場ニヒ同封館ヲ見ケル
テシテ得ハ心ヲツタリコニテ山ノト相遊遊ニ其
ニ法内次ノ所ヲ不在ニテ去テ我氏ノ所大ニ名
シ正午蒙リヨルニエシテ非云氏来所ニ四方山ノ所
又彼余ノ日記ノ見テ余等ノ事ヲ知リ大ニ喜ケ
ルニ興アリニ時々彼ヨリニ三時余ノ家ヲ出テ
所ノ小泉町ノ久留正通氏ノ所ニ黒田家ノ新築ニ
テ中盤智役クシテテ氏表テ之ヲ張余大ニ喜
ビ四方山ノ雜院ノ後家ニヨリ夕暮ヲ終ルニ後
家ヲ出テ既迄法律学校ニ赴キ用テ了ナサト
ルニ時已ニ遅シテ母ノカス"Ep4"引キヨリテ中御
義井亭ニ赴キ復来ヲ在リ後所大ニ喜ビテ
百点ヲ越テ取テモ叶マズ備大ニ喜ビ去田
谷并ノ十五点ヲトスヲヨシト鳥貞ニ飲ニ御
存テ家ニヨリ復テ既ノ時ニ十二時ヲラントス

くまもりの余等甚く喫ふ菓を食ひ尚然として
日西山に入らば知れず巴にて去る長弁寺等、
季底・惣の店・勇歌ありお六と云、今年巴二十
有四五才れへは景にナホ二十・交々ザノ儀ノナ
ク、此年此書・美全都・聞ハタリ云フ今工料
等也多ク彼環ヌト云フ竹屋、沼ヲ沼ハヒ次
十五夜、月巴の上ハ一竿金波耀灼クリ措哉
暗雲次才・多ク終ニ歡月ノ興ヲ深クシヌ
真乳山に至り頃日全ク没ニ余等愈思フ即チ
再ヒ沼ヲ命ニ向島ノ磯部亭ニ入リテ飲ム
一盃ニシテ容クワガニ盃ニシテ口滑カニ三盃ニシ
テ諸譚交ヒ出テ余等亦及ハ懐旧ヲ喜ナシ興
甚ク大ク向島・今勇歌舞ナクお百と呼ハ
ル者才一ツト云フ余等聘セシテ財ハ終ニ
止ム此日全ク飲スルモ、塔酒量淺ク加之諸
譚ニ拙ニ席ハ陽沸セズ山下等早ク飲ヲ止メテ
飯ヲ喫ハ興ナク至ラスニテ終ニ宴ヲ徹ス遺
憾々々余等再ヒ津ヲ命ニ西洋ニ上ルシ合頻
リニ北遊ヲ希望シテ止マス余服装、便ナラサル
ニ於テ是ヲ止ムシ合間ハ山下事、急ナリ
見テ疾走シテ逃シ去ルシ合日ク、同ノ夜屢々
北岸出入ス蓋シ大ニ経歴アリ余、如ナリ即

ク是末女内コハズ原ハ君ニ覺ラテ春郊遊
歩ヲ試シ今下巳去リ又今夏ハキモナシ
余百ヲ彼ヲ疎ク遂ニ他日ヲ期シテ浅草ニ来ル
何合日クナリ何余夢廬ヲ渴望ス即チ相
伴ニ公園ヲ漫歩シ家ヲ求ム適セバモノナシ河合
再ヒ北遊ヲ思ヒ余ハ餘欲ヲ理ヒ雜漫紛々ル
テ決セス終ニ堂後、一小店ニ入ル店ニ妓ヲ
密貞秀麗ナラスト雖モ愛嬌 啾々バシ河合ト余
ト且ツ飲シ且ツ妓ニ戯ムルヲ凡テ一対者トニ
ノ鐘ヲ聞キ寄キテ店ヲ出テ妓余ニ一叩ク与テ是ヲ
リ芝キ妓執リニ余ヲ優待ス蓋シ余ヲ陪シテ欲
スルモ、乎或ハ又余ヲ想フ態ハモ、乎受テ角余ハ
續待ヲ受ケタル犬ケノ利益ヲ得テ心算カニ
喜ベシ店ヲ出テ帰途ニ此ノ河合執リニ妓ヲ復
シ曰ク余彼ヲ……セテ欲ス蓋シ金ニテ是レハキ
ト。如ク夕ノ夜ヲ以テスヘキヤ。一日彼ヲ携ヘ終日
啗々ヲ漫歩シ帰途ニ亭奥深キ所ニ落ヒテ之ヲ
視カバ如何ト余笑テ曰ク君伊ノ野ノ下等ナト
ト後更ニ何レ脱字ヲ能クテ家ニ歸ル時正ニ
一時ニ此カラントス

十八日(金) 夕

九時圓お籠へ赴キテ膳寫ニ從リし午時亦
少し醫スニ時お家ヲ出テ既松信傳等後ニ
赴キ籠木強ニ却ト云フモハ等カ品ナラシ固キ堂ノ
仰シクお田ノ傍ノ三見歡迎ニ争ッテ余ニ戲フル
ニ男有之僅カ言強ク解ス無心成ル愛スベシ
山下ハ十八東ノ居ル彼ハ海軍少尉候神生ヲ
夕食ノ馳走ヲ受ケ八時家ニカノ書(信)ヲ発
シお家足ト中金ニ飲ム快云ハクラス十一
時家ニカクテ寝ニ就ク

十九日(土)下

今日ハ外出セ^二家^一、藝^二辰^一ヲ膳^二寫^一、從^二子^一ス
十時ヨリ林氏室ニ行^二高揚邦左部氏^一所
ヨリ^二寓^一ニ^二其^一ニ^二會^一シ^二遊^一後^二時^一刻^二院^一
正午^二過^一リ^二直^一水^二英^一史^二東^一訪^二ス^一余^二爰^一日^二快^一談
ヲ^二是^一ニ^二其^一ニ^二流^一流^二一^一時^二史^一山下^二ハ^一十八^二氏^一東
訪^二後^一海^二軍^一ニ^二関^一ス^二三^一時^二山^一下^二氏^一去^二リ^一直^二水^一ヤ
酉^二四^一時^二中^一原^二來^一リ^二再^一ニ^二飲^一ム^二六^一時^二矢^一島^二長
助^一來^二ル^一主^二客^一徹^二醉^一快^二甚^一シ^二蟬^一唧^二ツ^一望
ニ^二入^一リ^二興^一ヲ^二扶^一ツ^二折^一奇^二ツ^一九^二時^一直^二水^一去^二ル^一
十^二時^一直^二揚^一林^二來^一訪^二ス^一十^二時^一史^二客^一甚^二ク^一去^二ル^一
余^二又^一ト^二其^一ニ^二其^一泉^二亭^一ニ^二赴^一キ^二更^一ニ^二飲^一ム^二足^一日^二ヲ^一汝
飲^二食^一店^二ニ^一飲^二ム^一十^二語^一ヲ^二婢^一ト^二交^一ハ^二ス^一妓^二ト^一交^二ハ^一ス
醉^二ヲ^一益^二々^一然^二リ^一コ^二レ^一汝^二カ^一獨^二得^一ツ^二ト^一余^二生^一ヲ^二曰^一
餘^二之^一ヲ^二好^一マ^二サ^一ル^二ニ^一執^二ス^一為^二サ^一バ^二ハ^一ツ^二、之^二ヲ^一為^二サ^一バ^二ハ^一ツ
所^二即^一チ^二他^一人^二ノ^一為^二ニ^一然^二ハ^一ザ^二ル^一所^二ニ^一テ^二務^一メ^二余^一ノ^二長
所^一ヲ^二、足^二ト^一オ^二ト^一其^二ニ^一好^二シ^一多^二ク^一婢^二女^一ト^二言^一フ^二余
之^二ヲ^一言^二ハ^一ス^二テ^一是^二ラ^一ン^二ト^一足^二余^一ノ^二奇^一言^二ニ^一感^二ス^一。今
夜^二多^一ク^二飲^一ム^二侍^一女^二ト^一与^二ハ^一ズ^二肅^一靜^二ニ^一テ^二歸^一ル
只^二夕^一膳^二ヲ^一食^二テ^一セル^二ノ^一ニ^二可^一々。

二十日(日) 公

九時起々足ハ江原ヘト出カ余ハ勉強スルニ
連日大飲ノ故ニ頭重ク腹工合要ノ連モ勉強
強出来ルモノハ取ス即ハヤ搦肘ニテ旧日死
トリ出し之ヲ後ニテ集シム夫レヨリ林室ニ行キ
高橋トハイツオハガシヲ研究ス午後トモ研究
ツバタンガ余ハニオカキ家ヲ出テ江原ヲ行クニ
彼レハ外野松亭ヘ赴キ計リ足跡追ハルニ時刻
遅止ムヲ得ヌ下條ヲ行キ不在ト夫レヨリ中
條ヲ行ハント思ヒキカ身体ノ工合甚ク宜カク又
レヨリ靖国神社内ヲ散步シ休息ノ後家ニリヨ
ル高橋林乘リテ研究ス兩人共ク唄歌ヲ
興甚大ク寛島幹助来ル余ト高橋トノツカ
ザリト明笛ト合奏ヲス声玲瓏清麗快
クハカラス也ニテ神谷邦激君来リ次ヲ足ト
江原トリヨリ来ル寛島归ル。コノ夜振津權現
ノ祭日ヲ徴兩ノ筆ルニモ不周市中熱鬧タリ
唄歌ノ舞ヲモ、假色使キ、鳥鹿喧嘩ニ、喧噪
極メテ神谷归ル、余ト足ト江原トビール夜
入り鯨飲快哉十二時中ニ至リテケシテ
氣レヨク寝イ付ク

二十一日(月) ㊦

九時起キ図書館へ行キ正午ニ及ブ未ダ
午時登校大野氏ニ暑中画ヲ出ス中女子
陣ヲ博セリ未ダ又々同館ニ赴キ次テ
貴客会ニ行キ十時、下平、山田ヲ送リ
リ休息、後足ト出テ盡シ夜席へ行ケル
為テ大雨降ル道ニ果サズ直ニ豊田を
ヘ至リ毎且ツ飲ム隣室 稲波氏ノ一丁
アリ快哉 痛沈余之ヲ聞テ大感ス可
其中心ヲ日ニ「過去ヲ想フテ自ラ悔ミ
ワレハ懦弱ナルニ直ニ、英傑ノ上
ヲ下ヲ見ズ未來ヲ能ク遠キ同ハズ好
ムヲト余深クノ言ニ服ス豊田ヲ出テ更
ビール店ニ飲ム足平田叔父ノ博ヲ始メ
誇色アリアラスモ哉。十一時史家ノ切リ
ニ終リ

心

二十一日(火)

毎日過飲、為ル中今朝腹工合書+7限
+7七時起+7ヨリ連廁急激：下痢に眼
眩、頭沸クカ如シハ時痛ヲ強テ家ヲ出テ
先ツ日ノ谷、裁判所、又ハ直水、山下、神谷
建テ来リ、存正午ニ及リ夫レヨリ海軍省ニ赴
キ建案、大要ヲ見次テ、再テ定メ、外局ヨリ
夫レヨリ山下ニ於テ余ニ直水ト赤ト及瑞赤ト
一修即ヲ見ル河合ト相會スヨハ、中渡宇士
也ヲ擔當ス海軍省ハ、船越技師也ヲ擔當ス
也ルニ

中渡ハ、陰嶮ニシ意氣ヲ人ヲ隔シ以テ判

セントスルハ、剛毅ニ寛大剛毅ノ風ナ

船越ハ、局量ノ人ニシ胆力ニ乏シク世オサレ

意ニ峻秀、洒瀟ノ風ナ

妻木ハ、輕捷ニシ胆色ニ乏シク威嚴ヲ欠ク

意ニ磊落、奇抜ノ風ナ

造家士ハ、伊レ不完全人物ニナリ、或ハ自ラ
商賈的根性ヲ看成スルコトモナシ、余ハ、法
外ノ悲シク、余ハ、自ラ高尚、自重、寛大、剛毅、
磊落、洒瀟、沈着、守リ、天暗ノ大字
トナシ、期スルヲ

一條御法ヲ記尾井町、伏見宮殿ヲ見テ
叶ハス然レヨ途ニ至キ日暮ニ歸ル夕食後
散步ニ出カ、理髪ニ本仰面リテ漫歩シ
「ペンデル」及「麵包」ヲ購ヒ家ニリテ
酒ヲ飲食シ且ツ謄寫及ヒ画ニ従事ス
画興ニ入リ終ニ十一時ニ至リ寢ニ就キタリ

二十三日(水) 七

曉夢呻沈! 覺又寢 百幻續出奇甚
ハ時起キ 膽息ニ從リヌハ時中岡村氏来
テ多ク蓋ニ此頃 彼ト往來頻繁トラス珍姿ニテ
現出セリ余太喜ヒ共ニ夜中ノ奇境ヲ示ス岡村
氏余ノ日記帳ヲ一覽シテ曰ク君頗ル筆マナリ
塔ツカハ元ノ事門字術上ニ亘リテ文學上ノ趣
味ニシト大ニ然リ氏ハ露積ノ學說及ヒ心事
等ヲ告ケ與大ニ熟ス氏ノ行状中余ガ心情ヲ
動カセシモノハ第一岡山兼光氏カ代言子業十年
及リテ紀念ノ所知、花主、代言仲弓凡テ六
十年名ノ柳橋、滝清、松待ニ藝妓等十宴ニ行
スルノ大盛會ヲ催セシトコレ也。氏ハヨク親戚
兄弟ヲ有レテ實ニ恰セリ氏ノ見識日月ニ増
才智年ニ長スルハ一ハスガ為メナリ余ハ一ノ
平田ルルニ交際家ニハアラス況ニ十亦彼ノ余
等ヲ續遇セザルコトナリ。正午岡村歸ル午
後直ヤ山下殿以印氏来リテテラ余ハ今
日久留氏ヲ訪ハントセヨ御雨ノ至リテ事未
カニ果サスニ止ム。三時中山下ト共ニ家ヲ出
テ余ハカ林ヲ訪ヒ次テ山下ノ室ニ至リ中原氏
ニ逢ヒテテラ余ハ山下ト久シクニテ

湯島社内、西洋料理店に登リ酒々に食
フ甚の快ヲ夫レヨリ二人君竹へ赴ク

若原大夫	69	松下電
燕大夫	(30)	合野
綾原大夫	98	政右エフ電
幡广大夫	100	浪枕

幡广コノ日甚々上出来サトケルベシ
归途青木堂ニ入リ麥酒ヲ飲ム大倉ニ括、
棚橋来リテ在リテ夜ヲ張ス大倉飄々空言
大言ヲ吐クイフモナガラ後ノ癖サトケルベシ
山下微酔ニ放言●マ、京都ノ花ヲ追壞シ
テ止マス山下トケル十時半家ニ归リ日死ス
忍メ十一時半鐘ニ就クトスル片足用テセ
ル所アリ酒肴ヲ余ニ俵ス余醉ニス飲シ傍
ヲ日死ス忍ム

二十四日(木) 木

午後八時半登校辰野君ノ講義ヲ聞ク予山氏ニ
画ヲ呈シ正午ニ至ル午飯食ル来リ三時遊ク夜次
まいたりに人ヲ提ケテ外出シ春木庵建築ニ欠ク
テ二人共々シ余ハ本所ノ久留氏ヲ訪フ予在リ
止ムヲ得ステ如庵セテシカ直遊家ニ月ニモ
ナシ思ヒ終ニ浅草公園ニ至リ久シクテ熱帯
見ル余閑歩ス偶ニ一人斜ニ余ノ眼ヲ過シ余
ト眼相見テ相笑フ彼ハコト多ク戯フルノ故ナリ
余即ハテ微笑シテ目孔ス彼ハ顔怒リ紅ニ云ハシ
テ云ハス"道ニ去ル又一小折遊ナリ公園ニ出テ家
ニ泊リ夕飯後休息スル時ヨリ足ト膝ヲ出カテ
上野ニ至ルハ一日ノ休ニ祭日ナリ足ト膝トニ至
リテ飲ニ出テ三浦庵ニビールヲ飲ニ微醉ニ
テ家ニ帰ル

? 二十五日(金) 木

早朝神谷邦海氏来訪ス日ノ君何ニ行カト
ス中余日ノ熱居センル神谷余ヲ王子ニ遊ハシ
テ勸ム余即ハヤ其ノ喜ヲ出テ王子ニ向テ道ガラン
テ殊法螺一捲シテ別ニ價直ナルモノナシ
神谷性実ニヘンテコレヲ大ニ取ルベキ人ニアラス卒
然余同ノ日ノ君若原ヲ知ル乎ト余曰ク素ク
知リ神谷即ハヤ巴ノ心情ヲ覆キ日ク男子ト
女子共ニ情ヲ満スル共ニ山モノアラバ互ニ相通シテ
可ク令嬢、後家、妻君(コトハ幼)何ヲ授メト余
之ヲ聞ク當カ神谷ノ弁ケタリ母ノ推現託、遊
野川ヲ経テ龍山ニ總ヒ梨子ヲ食フ店ニ七十点
ノ方女ヲクシテ知ルベシ余今日parabolic love
フル愛ヲ發シテ正午蒙リ明リニ時ヲ一昼寝、後
沐浴シテ神谷ノ同ノ氏偶々来リテ在リ四時
半去ツテ十時氏ヲ行ヒ去テ家ニ明リ夕食ヲ終ル
小林保氏来ル氏ノ後足ト夜席ハ甚ク帷子
ノ大文字院ヲ聞ク百点ナリ偶々同林氏来リテ在リ其ニ
湯島天理ニ遊フ同林氏ニ此ノ足ト共ニ夢ト
以リテ飲シテ家ニ明ル時ニ十一時ナリ快甚
ニ痛又シ忍メテ寝テ就ク

林文日(士)

天下太平年號ハ月字午办示然ノ足好外及ニ
一 匡子ニ行ハ増ハ同持万心理ニ時字字字ニ
归行大ニ勉及ニ十一時産 2853 今日 僕等ハ
字經見大助代ナ?

廿七日(月)の

早朝半信大助の事、決り林、高橋、女子七
 一 服中銘松代及洋服高黒江頭、満安州、
 像余一同、筑野集地、手覧、多少益、不、所
 一 一、七、年、代、美、防、不、在、ツ、次、二、手、用、の、方、と、経
 一 一、年、鑑、三、也、テ、蓋、不、所、ア、ツ、の、正、午、に、至、し、は、飯、由
 一 一、長、の、命、に、余、小、費、然、(何、が、事、然)、松、静、亭、に、入、り、酒
 一 一、食、の、所、に、僅、か、の、酒、ハ、余、カ、遠、道、の、女、方、の、余、ハ、在、り、
 一 一、家、の、中、の、体、は、後、に、飯、後、し、最、事、の、後、の、多、し、日
 一 一、暮、山、田、飯、林、甚、好、事、ツ、大、の、音、集、了、不、可、免、ス
 一 一、入、人、に、あ、り、替、人、カ、却、山、田、ト、行、て、今、多
 一 一、好、事、に、出、り、て、七、二、ル、了、飲、山、田、一、ヶ、し、余、更、に
 一 一、平、野、家、へ、登、り、大、飲、食、ス、坐、隣、に、居、り、ア、ツ
 一 一、キ、リ、最、大、の、ウ、ル、ツ、マ、ブ、キ、テ、其、後、全、的、に、は、俾
 一 一、事、カ、世、子、ノ、大、原、の、上、に、テ、ス、一、二、三、心、に、血
 一 一、茶、茶、茶、ウ、ル、余、カ、時、年、の、松、中、に、於、て、皆、皆、に
 一 一、探、思、に、ア、ラ、シ、テ、櫻、カ、レ、如、途、に、ア、ツ、出、ル、所、多、シ
 一 一、何、カ、レ、皆、打、愈、サ、レ、ル、に、性、来、物、に、重、カ、ス、出、
 一 一、若、ル、ハ、何、カ、皆、ヲ、マ、カ、家、に、カ、リ、砂、振、了、長
 一 一、ヲ、傳、カ、レ、之、了、愈、に、意、に、是、了

入

廿八日(月) 午

早朝ヨリ服本銘松氏来ん次ヲ、高橋、林等
来リテ院坐シ候ノ際ニ午前ニ空リス午時ナ
シシラガル所アリ日暮田中苗左印、陽永重
兵衛、高橋等来ニ、酒ニ置テ陽永ヲ馳走ス
仕大興ニ是ニ縁テ夜ノ山下陸谷邸来
ルナガリ帰ル陽永相リ所部ニ各持某頭
ルナガリ密金ヲ去ル由テ是ト共ニ敬告ニ
出カビル^{平野}是ニテ大飲シ次テ江ノ上
リ更ニ飲ニ微醉シテ家ニリヨル十二時
高橋

廿九日(火) 下

早朝山下に石井ト共ニコンテ^ル方^向ト
一 巖園^ヲ見^ル中^ノ布^垂テ^リ正午^至リ^テ休息^ス
息^ス中原^堂々^来ル^程迄^ハト^勉力^トニ^午後^ヲ
送り日暮^翳ツ^テ野^ニ立^テキ^テ推^テテ^テ交^フ
取^ルル^ル余^ノ堂^々カ^ル謝^文フ^テ忍^ハ
未^だ人^余ノ^端々^見テ^余ヲ^エテ^人ト^思ヒ^ル
ナル^ベレ^余ノ^自ラ^エテ^カラ^ズト^思フ^テ人^コソ^エ
ト^スコ^レ余^ノ直^ニエ^テ可^以ナル^カカ^割レ^後
見^テ吹^ヌキ^亭へ^赴キ^女我^士夫^ヲ固^クシ^レ
ブ^ツ女^我大^トソ^ノ面^白カラ^ヌテ^言語^全ク^ナリ^テ
死^大お^云妓^假弟^ツカ^ヒテ^義大^夫カ^ル下^居
レ^テ開^ルに^甚テ^時ハ^微雨^至ル^候室^江知^勝
ニ^登リ^飲食^ス大^雨沛^然ト^シテ^至ル^レバ^ウ得^ズ
車^ヲ命^ジテ^家ノ^門ニ^至ル^候十一^時也。

九月三十日(水) 9.

昨夜ヨリ暴風雨吹テ陸キ勢次第ニ加
レテ余ハ半ハコレニ難易シテ陸キ外出セズ
辛草御文ヲ草ニ仕録書シ調製シテ咽ク
モ之ヲ空クセス午後佐藤允深決来ニ征
レ病ヲ得テ故郷ニ归ルトナリ日暮ニ至リ雨
晴シ風オサマソ一天拭ク如シ余ハ夕飯ヲ
終テ足ト共ニ若井亭ヘ赴キ其内ヨリ南ノ
会衆ハ中座案ニテ例ノ忠臣義和ヲコレニ
目マテオフト一ニテ愉快極ナシ松ト演劇ノ
欠ルノ思ヒアリ殊ニ抱腹絶倒セシヘテ且
ニハニ味極ヒクテ大丈ガ彈キタルヲ
マゴツキ合下手ヲ加減安シテラレツツレ
ナリナ時中ニ浦元ニラビルヲ化装シテ又
イロハニ登リテ飲ミ陸キ御群ヲ家ニ归
リ病ニ付ク暇日ヨリハ魚ヲ入レ替ヘハ心不
成ニ勉メテ見セリ。糞。

十月一日(木)七

午前十時登校辰野氏ノ講義ヲ聞キ持物
閱覽室ヲ見物シ午家ニ帰り大ニ勉強ス即
チウ休レルケレバ又論又草セシ
四時田中苗氏来リ五時退キ归ル氏電氣治
療ノ珍説ヲ講ル非常ニ面白クシ日暮山岡
氏来リ聴テ去ル秋谷氏来リ話ス中々面白シ
滝井、竹岡兩人来ル交談ノ面白シハ
分家去ル一寸物等ニ出カテ論又ニ往ル
十一時空腹ニ堪ヘ難シ一杯酒ハ
甚キ一寸飲テ帰り寝テ

十月二日(金) 七

午後三時行初の大工銀次郎達上野日本橋
丸の内線運命就大工銀次郎の借入無事ナ
レハ竟利向若テ出来難カレカ亦折リ得ル
所ニテ其夫曰リ矢富大工銀次郎の借入無事ナ
レハ竟利向若テ出来難カレカ亦折リ得ル
孫崎正三氏余ハ好道ト大工銀次郎の借入
ニ十一時ニ至リテ余ハ夫曰リ日本銀行ニ赴キ
葛西田島諸氏トテ大工銀次郎の借入無事ナ
レハ竟利向若テ出来難カレカ亦折リ得ル
午後二時日本銀行ヲ去リ東京裁判所ニ赴キ
以テ其借入無事ナレハ竟利向若テ出来難カレカ
也余ハ借入無事ナレハ竟利向若テ出来難カレカ
借入無事ナレハ竟利向若テ出来難カレカ
歸リ知テ八時半ニ出テ有ル者ヲ見テ
ル者ナリ新リハ何レノ一寸飲ミテ
リ十一時歸リテ

三日(土) 9.

11時に登校書物ヲ借リ函ヲ見ナシ不井氏
 送送シリ河気ニ来リ食ニ就キ正午マテ空シク
 送リタリ一時山田欽也東ニ筑ナリ午膳シテ
 待テドモ来ラスニ時来意ハ出テ岡村ト福ヲ
 不在ナリ即ハヤ轉回書館ニ入リテウレクニテハ
 用事館建築工場ヲ見シ夫レ春木池
 工場ノ一院ニ家ノ用リタ夕飯ヲ食ルル午後
 鉄木牛店ノ周裏ナリト樹トモ登云ニ後ヒ
 淺草ノ鉄木ニ赴ク鉄木ノ一景遊了後シテコト
 来リ在リ欽然下宿場トニテ是ト飲ム思ヒヨリ
 淺草館ノ興味アルヲナレイ再シテ遊ナクニ人
 ニテ一升ノ傾ムタリ遊場ト大飲ナリニ人ハ鉄木
 ン出テ公園ニアソコトト遊ギセシカ如クシタリヤ
 若原ヘ入リタリニ人ハアソコト遊見ヲキノミシカ
 原在ニ登揚キ大門外ノ一ナ店(イフヤ午後セ
 シ店ト)ニ入リテ又ハ飲ニ大醉ノ体ニナリ店ヲ
 出テ車ヲ遊シテ家ニ歸ル其夕時ナルヲ矢ルラス

四日(日)

六時福永を乗換氏東を執務二階スル迄迄
アツ余の家ヲ出テ先ツ下車小森ノ所ヒ山田ノ所ヒ
乗リ換テ新橋停車場ニ至ルコトぬ故ノ草山村
別荘ニ赴カルルガ爲メ例ノ如ク車ヲ凡ニ六時
快車ニシテ十二時迄子ノ森ノ遊園ノ所ニ行キ一家
ヲ特行車程遠キ某地ニ赴キタル云々余ハ即
チ用意ノ道具ヲ取り出シ別荘ノ醫士ニ從テ診察
會ヒニ時ヲ候ぬ父一盃酒飲マシメテ味ヲ余ニ見
テ不審ク一ニ付、爲メ味ハナクテ味ハ味シト云
フコトぬ父ハ何思ヒシレドモ一ツ種ヲ無防ノ時持
テ行ハテ云フ不審余ハシテ又テ外ノケンマツ、余ハ
非常ニ之を思フ於テ母田モ知レリ母又母ニ付、
爲メ味ハナシト云フコトぬ父ハ孫ノ書ヲ乗リ、
ト非常ニ冷淡ニ思フコトナシテハ行カスト心
掛レテカラ画ヲ頂ケル内叔父ハコトノ際心ニ
余画ヲ此ノ果ニ大ニ譽メ入りソ画ハ筆之ヲ
業ニ授ケテテ余ハ日暮ニ至リテ全ク醫士ノ
成氣シテ今日余田ノ業ニ中テ乙海合ツ
子一人高ホバ、中ホバ、エテ内ノ便箱ナリ
爲メ余ハ大ニモテガレ夜毎ノ後余有ルガ爲メ
ナシ院スル地ニシテ要件ノ欠ナク手田ト

下流にハ第2号、得ハ竹ノ下リ所朝ハ
 白田十ヶ茶ノ新茶味ハカノ今社ハ早ク産
 ント云フモ場町ハ全日産茶産ニ至ラ一
 泊スコ、茶産コソ餘程縁好アル町ニテ下崎号ハ
 船頭ニ由リ的ニ加テ賣スルコトテ業トスルヲ
 余ハ産産ニ入レテ一樽来テ何カ増クニ誤ヒテ
 量スルハ余ヲ驚ハルカメテシテニ皆ハニ三人大醉
 シテ下女ヲ扱ヘアルモテ事ヲ大声ニツクキ立ツル
 ニ下女ハキツキツ叫ビ散シテ其隈勢ハ下基
 ノ夜ボマテハ産ワカレザリレハ直境ノ用口ナリ

五日(月)ノ

五時早起テ日産ノ産見送レモ、産婦ト長樽ト
 リ評シ日コ、アルコソ伊東カ、内食オマコソ似テ
 内坐ルコト、産兄カンコリ………ト叔父ト匿子コリ
 漢字ニル字中、テコステト云フ以テ右列ノ剛烈節
 ト産産中ノ産ヲ著承直ヤニ産ニコ平田ノ雨ヲ
 余ハ日ヲ銘リニ産リ年ハ山田銀此ノ汚ト共ニ林氏
 3百ヲ林ハ山高信産ノ産子ハ余ハ彼屋高
 7尺ヲ産ノ産ハ所アル林ト三人ニテ上野ノ
 剛工命ヲ受ル中ハ捨快ナリ曉去ニ帰リ酒
 3飲ム山下来テ大ニ産産又似テ産産出カ

女竹ヲ再ビ飲ニ努メテ昨日ノ夕食ヲ
ヒ一盃ナレバ信螺ヲ吹リ夕食更ニシカ
ナリ 勿色山下ト更ニソバを入り大に飲
余ハ夕ノ解ツテ家ニ歸リ酒ニ就キ十二時
ナリ

六日(月) 下

午前同出館 午後暑甚、夜足トビール
をへ進キ勿色ニヤモへ引カリ又ニ飲シ
テ家ニ歸リ酒ニ就ル

七日(火) 下

昨日日本銀行、日暮ヨリ下條来リ大に飲
テ又十一時下條トビールをへ入り足ト
又更ニ足ト~~ビール~~汁ヲ酒へ入り又ニ飲シ
テ家ニ歸リ酒ニ就リ

八日(木)?

午前図書館, 午後論文, 日暮散歩, 七ツ
買物セリ先の外何カヲ忘レタリ?

九日(金) 下

終日裁判所事務に没頭時刻大に短
所々の江原ヲ訪フ不在ヲ中除ク
フ花母會ニ母印ヲ来ル, 本田氏外五
錢ノ事夫ト二十ヶ石争フ, 是れヲ
不在ヲ却テ訪フ彼れ余ヲ富士見橋ニ
招待シ大ニ飲ム余亦リ歸ル十一ヶ
ナリ

十日(土) 下

午前学校, 金子受取, 論文起草,
カ林, 山岡, 東ヲ訪ス, 午後湯島天竺,
茶孔ナリ足ト今遊ニ中ル久シクテ
面白シ所ニステムヲキレニ御禮シ
テ歸ル

十一日(日) ㊦

昨日積曇に於て今日、快晴に成
家へ戻ルヨク、勉強等々下平、即ち、江
村等來ル、日暮 山崎 等へ赴き出直して
市田へ赴き、内儀を逢つた後、つらく
家へ歸ル 又ト再ヒ出かけ上野まで散步し
帰宅ステラキメに車にて歸ル大
祥セリ

十二日(月) ㊦

午前十時出籠 午時半見舞を即ち母ノ
葬式に参り、午後一時見舞を参り、母
ノ墓に参り、波又、博見氏、忠思フベシ
来参ルモ、大寺へ参り、多し、百五十番
系、山崎氏、我余カ有る等、就居、瑞云ヲ
賛評し、キレオタル 彼し中、シモ、ワ
氣に歸り、知照又山下來、其次、來り
快哉スサケ酒ヲ飲ム 三人、散步に出カ
ケル、其別し、其神奈川、外、出参ス共ニ
コースヲ飲ミ、ビスヤトヲ食フ、各々、其テ、空
り、歸ル、其ハ、ケシ、シ、若ナシ、日記ヲ、ワケ、十
一、時、後、記シ

十三日(火) 9.

早朝ヨリ永田河へ赴キ日暮迄ハ久シク
テ終日製圖ニ従子シハカガハ心身共ニ甚
シク疲弱シタルハ食ヲ見ト共ニ素業ヲ行キテ
前夜ノ大切マツテ四時迄テシテシテ
セテ申レ雖ツアリテ例ノ夢トシテ赴キ大ニ
飲ツテ身ヲ令テ弱ク。常ニ見テ見ガケテ死
込レテ年々ノ矢ハカガハカガハニス。余ハ兄ノ常ニ
同ジスルハ得テ余ニ共ニヨク知レハ負ハレ一
表余ニ云ハズ申レ余ニ送リガレハ如何。余常
ニ蕭然トシテ死スヘカラザルノ感ハレニシテ。吾
手今夜見テ卒業後ノ方針ヲ定メ余ハ兄ノ
卒業後ハ好身ヲ高クニシテ常ニ。ソノ理由
ハ同ハシテ知レ。兄ハ月夜下宿屋ノ夫
婦等ヲ相手ニ飲ミ且ツ言フ。言語術ハカ
ニ保ラス下手ノ言ハ。始メテ達人ニシテカ
フハ誠ニ不手ギハナシ。左ハ彼レ南業医ニシテ
人場ニアラズ。學者ニハナラズ。何カカガ
子ナシ。只彼レハ自負心ノ強キトナセ
修業ノ強キト知レ。ソノ他ヲ知レカガハ
十二時迄テ決テテテテ

十四日(水) 土

早朝建築局自善の館昨日、如し
口端の西井谷所、道喜等、流石等、
身スハモ、五六十人、殊々高山幸次郎氏現場
視ト云フ、経ニテ有る益ハ、流石等ナス
次ハ、葛木氏、日本建築史ト云フ題、ヨクシテ
ソ、云フ所、サレド、傳ラス、下ラヌオ、スベラ、ト長シ
シ、バ、ルナラズ、天皇名、年号、名ナハ、たゞ、
英ナツ、局モ、建築等士カ、ハ、マ、ヤ、ク、ニ、シ、テ、モ、
マ、ノ、レ、テ、余ハ、殆ト、行、テ、流、ニ、シ、テ、外、ハ、

文武 = ブンブ 聖武 = セイブ
龜山 = ケサン 延暦 = インレキ

コ、ク、コ、神武ラシンプト云ハガリケル
コ、下、ラ、ヌ、流、石、ニ、ヨ、ク、呆、果、テ、山下、石井、ク、
三人ト、何、處、ニ、就、ク、途中、ステ、テ、僅、ニ、家、ノ、
ヲ、獲、テ、就、ク、キ、ニ、十、一、時、字

十五日(木) 9.

登校履野氏、備我ヲ聞キ正午マテ教下
平赤次氏来リ、此日迄ニ星北草摺ヲ書ケト云フ
余ハ巴ウ得ヌセテ流ヌ三ツ平田ヘ行ク
今日ハ15条、水摺、開道式ニテ橋上ハ老
婦男女群集シ、オシラシニナド店多ク見
女児ナドハ羨衣ヲ纏ヒテ群ルニテ、持統
祭日ニ似タリ、日落家ノ門大ニ起テ草
摺ヲ懸ク、東ノ石ニ踏ム則チ足ト外出ス
(コレヲ見キ不愉快ナルヲ来リ母ノ可憐
カク) 平野君ニ例ハ、ラヌル一ツ食
ヒ大ニ快ク、御持テ流ニ仰リ、意ニ託シ
一二日斗リ、夙部ノ氣味ニテ工合甚ク盛
ニ

符號

- 1 ㄥ = 未解 通例 二合以下
- 2 ㄨ = 微解 通例 二合以上 五合以下
- 3 ㄩ = 大解 通例 五合以上 一升以下
- 4 ㄴ = 泥解 通例 一升以上

1. 指水摺ノ爽快ルニ、2. 結中愉快ハ、(原面目)
事ノ厭ヲ、3. 此中ハ、乳ニ、流更状トルニ、4. 前後
ヲ失フニ、

十六日(金) 欠

午寄草場下平へ届く直ぐ永田所へ
行き日暮家へ归り理髪召上製与て
象へ归り酒酌の酒を飲み沈睡せり
月見にて掃へ倚り不知不覺に墜
外新花田操り余を起し余を跟
たり落し就て其何時か知らず

十七日(土) T.

露降、氣味ツキ、芳、霜、露、笑、到、リ、テ、大、倉、華
 上、流、流、レ、午、時、山、下、石、井、寺、ト、地、持、時、佐、竹
 柳、庭、に、備、ル、清、水、針、友、界、新、婚、相、儀、同
 遊、毎、二、鐘、ハ、庭、ハ、流、石、子、堂、サ、ト、子、レ、
 ハ、カ、ツ、山、ノ、水、ノ、石、ノ、樹、アリ、空、ノ、色
 地、持、ト、云、ク、外、に、地、ノ、ツ、ツ、テ、流、ノ、柳、ツ、同、
 柳、石、日、ノ、屋、石、日、ノ、庭、石、酒、石、
 嬋、妍、ハ、校、書、十、数、本、アリ、暮、ノ、呼、レ、而、シ、テ
 酌、メ、子、居、ハ、嬌、焉、ル、半、玉、十、数、本、アリ
 若、ク、強、ク、而、シ、テ、固、子、ヲ、食、レ、ル、所、屋、ハ、内
 里、然、ル、柳、ハ、ツ、巧、ク、愛、嬌、ヲ、賣、テ、哀、ノ、止、ム
 余、等、三、々、五、々、ヲ、携、ヒ、且、ツ、飲、ミ、且、ツ、食、ヒ、同
 人、ト、相、戲、ル、興、アリ、次、テ、正、一、ノ、時、
 同、起、ノ、深、深、ト、去、原、道、ニ、ワ、カ、ツ、終、リ、立、食
 儀、應、リ、牛、飲、馬、食、去、原、道、内、也、亦、同、施、
 テ、興、ヲ、深、ニ、管、院、ル、池、ノ、園、同、十、八、ノ、町、
 毎、火、ノ、ツ、ク、(庭、葉、多、ク、アリ) 又、白、昼、ノ、如、シ
 葉、葉、已、多、ク、時、ヒ、各、々、林、ヲ、樹、陰、ニ、没
 シ、枝、ト、懸、テ、丸、モ、アリ、半、玉、ト、戲、ハ、レ、アリ
 景、氣、頗、ル、盛、ナリ、會、ハ、土、時、守、御、ノ、法、ヲ、傳、
 能、シ、多、ク、久、持、有、多、ク、大、會、ニ、臨、ミ、再

に録飲マ理子等事ノ慣レヌ周旋甚ニ到ラヌ
興大ニサレコノ夜 佐為殿ト大儀討テ卯戌ノ
右ニ一條ノ格闘起コトニ止リ 飲木、小指
等別室ノ隠レ快ク食ハル 余等寧ノ冬ノヲ
候ノ家ノ内ニ 金上再ニ喜樂亭ニ登リ更ニ
飲ム 余服ヲ脱レ快流月明ニ染レ屋上ニ出
テテ益々改テテリ 月ル忘レ十二時ノ過ル
頃 鐘聲トシテ家ノ内ニ還ル 夜大儀ハ
コト保レテ、二小母ニ侍立テ、遠レシ 余ハ
今日始テ余ノ欲スルモノ 飲食セシ然レニ
笑ハル ビール、ワインニ上等料理ヲ以テ長人ニ
付属ス 申レテ浦希珍ニテ、路ニ臨ミテ
杯盤積置ク 蓋ニコレヲ倒レテ 湯ニ
其快ク取リテ 得心 余ハ周旋會上別ニ
大儀ニ上レシマツ 大儀ハ 乃ゾ中日々……

十八日(日)也。

宿醉強つて気が悪かつ茶へらさず、正午
まで車に動人似たり正午の湯浴まり
大い冷況なるに不快、意へ今日ハ昨日
殊止々天気ハモ不周期、用々モモ
酒、為、酒、根、い、路、々、ツ、日、暮、名、橋
、秋、席、ハ、結、ク、中、ハ、面、白、シ、十、時、家、ニ、ワ、ク、ツ
兄、ハ、江、原、ト、山、田、ト、芝、ハ、ベ、レ、ク、マ、リ、底、ノ
ク、冷、況、甚、刻、ノ、後、四、人、家、ヲ、出、テ、切、通、シ
、安、西、洋、料、理、店、ニ、入、リ、チ、ゴ、タ、ツ、云、ヒ
ニ、品、三、瓶、ヲ、飲、シ、各、々、別、レ、テ、家、ニ、リ、カ、ル
時、十、二、時、迄、キ、タ、リ、コ、レ、デ、笑、フ、今、日、ノ
案、モ、ア、ラ、タ、ク

午首飲本云つ無マレハ概探案来
沿々道ハ所々橋概余の冷況、若シク
倚シ玉坂ハコソテ強シモ同キ置カ一列
ナク、人ノ沢介ハ小松草来ルコト、……
、故アツテ技師ヲ備ヒタシ云フ余同地ニ
ツツ又コト日井川氏ヲ招ヒテ丸枕又枕強ト
シマシ

十九日(月) 今?

早朝小松氏来り余井川氏を祝し四人にて
盃酒せり酒飲つて壱マレカ如しコノ井川
氏没小報剛百五十金ツツ内金三十
金モ呉レバヨイ(又此ニ怒張リカヨ)
斯クシテ午着ニ費テ午外外出スルノ費又ニ
日暮足ト夜席へ行リ行キダレ夢酒ヲ飲キ
夕ハ平野屋ヲ飲キ斯ク大ニ飲キ甚ク
不都合ニ付余足ヲ凍レガ足ハツト合ヒル
ハ鬢成セト云ハ余マカヘ又言テシテ遊
舞ニ遣シ家ノヨリテ復ニ付 〇〇ノ十ニ時ツ

二十日(火) I.

早朝 回書鑑了汚し庄了乃神名来分又
即ハ彼ト共ニ日本銀切見午後ヨリ激雨也
先食、度外館、常子ナシ、此ヲ欠ラカシ
ヲ待評ニ中々面白シ日暮家ニ归リ休息ニ致
神谷ヲ訪ヒ 電話一ツ石ノ後ニ人ナリ連レ
テ御、伊豆ナト云フ夜席ニ赴ク一向ニ面白カ
ラス 雖ツテ余ト神谷トステト入リ大ニ飲シテ
快哉ス 彼ハ缺ハ有情的ナリ 興ニ染レテ余ニ
淫靡ヲ試ム 蓋ニ彼ニ来ル快針ヲ知ラス余ヲ
以テ大通トヒ余ヲ挑ムナリ 次ニ嘉足守ニ来
リ今ニ於テ一大酒トナリ余 餘飲甚シクセニ
三人ヨリハ一ニ赴キ更ニ酒宴ヲ展ヘ 主菜共
ニ泥靡シ 醜態トシ 家ニ归リ 蕙ニ馳リ 余今夜
思ハズ 淫靡痴説ヲ吐ケ大ニ失算セリ一
例ハハ 神谷氏ニテ記憶如余ニ 車幸卒業際
ヲ以テ大ニ君ト云フ快ニ食ボラシマシ...

二十一日(水) ●

宿醒の味アリテ早起スルヲ得ス 曉ニ十時
ニ至リ起テ余ハ 曙由ニ 従子ニ (酒飲キ無シ)
井川氏東房ニ小松子件ハ長尾守平氏ニ
當ル由テ告テ仰ル、井川ハ失望アリ然レモ
余モ亦ク失望セザルヲ得ス 日暮ニ使子
陽来リ 體ヲ 仰ル 余ハ 齊齋 余ニ 赴キ 小林ヲ
訪ヒテ 二小冊ヲ 取リ 次テ 大塚氏ヲ 訪ヒテ
二冊ヲ 借リ 山下ヲ 訪ヒテ 其ニ 數語ニ 對シ
切ニ 謝シ 其ノ 爲ニ 入りテ 大ニ 食ヒ 大ニ 飲
キ 其ノ 家ニ 仰ル、又ト 小宴ヲ 張リ 其ニ 酒
ヲ 飲マシ 曉ニ 十時 迄ニ 此ノ 今日 一滴モ 酒
ヲ 飲マズ 極メテ 珍シ

二十二日(木) 木。

今日ハ昔授テ辰野氏ノ講義アリシヲ鈍クモ全
ク打テ忘レテ十時マデ朝寤ツキヨクニシテ早
屋ノ食ヒテ車ヲ乘シテ午歳セテ赴キ真水ニ
逢フ真水ハ隔日ニコニ来ルニ云ッガ一向マダ
又モノサト知ルヘシ今抗打テ地形ヲナセル
ニツテ余ハ真水ト共ニ午歳セテ去リ駿河
ニ立テ寄リテ足ノ用ヲ足シ家ニ归ルニ淺井ニ
郵来リテ一時百餘リ宛テ此ノ端ニ余ハ著依
トリカニ足工爲テ提ケテ寄ルニ同ノハ
淺草ヘ寄リセリト申ク感心ナモノナリ。余
往日奥山ニテ善人ト戯レシナド思ヒ出シテ
寄リ妙ヲ考ヘテ引キ出シカモ津マシ。又ト二
人ニテ少シク飲ミ十一時ニ復ニ就リ

二十三日(金)

登校直ヤリ帰途瑞文了草こす日暮
ス醫了剥リ高岩会に赴

二十四日(土)大

朝登校図書館見聞の昼ヨリ平田へ
赴キ土産ヲシラベ夜入ッ家ノリカ
九時頃 藪野ノ出カ湯島セヨ後換
・ 藪野ニ函ニ惠知勝ニ入リテ飲食ニ
家ニカソテ暮ル

二十五日(日)

昨年、今頃ツツシに後には次ナクケン江原ト
園村ト足野ト 飛鳥山 瀧野川ニ越ヒに墮テ
思ヒ出サレ、小春ノ日ハ甚クウラ、カマシテ
我ヘリ死ケヘト更キタリト、噂モ聞コエルは次ニ
ナリ又今朝ハイフレナル心地コリ朝霞ニテ起
キモヤラ又落モヤラ又切カ夢カ不逞ニ余ハ一
一大集會ニ臨ミタク美酒佳肴山セウ美人
亦ノ群ヲナシテ興ヲ扶クル、美人廿名打ッ
レテ、踊ラク、講ヲ聴ク、落テ去ルモツ、酒
宴耐ニシテ宴悉ク解ヒ美人ト驕キ狂フノ狂
夢俄然ニテ覺ケレバ時已ニ八時ナク嗚呼我
ナガラ津波ニキ夢ヲ見ルモ、哉、コレモ平常凡俗的
ノ野心アレバコソ斯カ、夢ヲ見イナラシ、去リテ
モコノ野心全クナケレバ無味無興、有リスガレバ
目至苦茶、果テ思ヘバワルクモ無し云フテ津
マシキハ人心ナリ、イデヤ今日ノ夢占ヒ、當ルカ
外レカ、余ガ心正シカ、田イカ、都リ塵外ニ
出テ、悟リテ開カシモト殊勝ニモ心付キ、朝飯
ヲ終ルテ吾家ヲ飛ヒ出テ飛鳥山ニ向ヘリ内
村ヲ過クテ不在ナリ即チ都リ飛鳥山ニ赴ク通
スカラ伊モ考ヘ子バ塵心平氣只ダ工合コ

照ス日交ニ心地ヨク木ノ葉ノ色ハ色ヲキルモ
珍ラカテ来ルトシモナク来テ見バコハ早航
鳥山ナリカ見等華夏ニ尽シテ三四十人狂ニ戯ル
ハナ手後モ徒ノ運動會ナリ余ハコト見テ智
リ衰ビテ餘金ナリサ時見物ニ夫レヨリ滝野
川ヘ赴クニ江東ハコト一程モツキ辰リ茶モ
十路久アリ中ハ酒ヲ酌ソルモアリ余ハ酒ヲ
思ヒガ正服ニ耻ヤテ越テ押ヘ只伊トナリアリ
ヲ跳リナガラズツト澄シカリコト片舎ハ自カモハ
餘程鳥尚ニテ像義ナル感想ヲ起シタル録ニナ
リシガ 停リ見バ、ポンツグガ狐ニフママレテ
呆レテ辰ニ撮ナリヤモ知ルベカラス滝野川
ヨリ飛鳥山ノ下ニ出テトアハ茶店ニ惣ニ拵テ
食ヒ茶ヲ喫セリコノ家に一人ノ女長アリ客與十
人ナリコトナリ宜シキ方ナリ立テ働カ撮ニ目ヲ付テ
テアレバ亦ク一程目ヲ慰ムルヨスガトナリテ
自ラツルカラス茶代ニ〇銭ヲホリ出セルモま
シカガナリ飛鳥山ヲ去リテ例ノ大極細コ
トール、通長クシ見ルモノナシ流石ニシキ臭シ
アレバ細信ノ符ヲムリナドレ小刀ヲ出シテ
小枝ヲキリ揚枝ヲコトヘテ氣ニカレニ遣テエツ
ナドスルカ思ヘバガサト云フ声ヲ聞テガツテ

已し此ヨト草ニ入レトド下度十ニカ十三ノ小見ト
一般ナリ素ニ用友アリテ偶坐栗リ余ヲ見タ
ンニハ、オト伊東、貴怒氣ヲモ違ヒセヌカ
ト云ヒレハルベシ、云ラ吉人ハ大ノ得意ニテ、神
心優々自ラ悔ルル所アルダローナカト一
向有頂天ヲ考ヘテ起シテアルナリ。コノ小見死キ
考、アル間ハ余ハ夏ノ服ナキ小見ナリ、吾小見ヲ
装フ自漢ナリ、自ラ已シテ歡ハ罪人ナリ。坐
レモコト、吾ハ自ラ罪人ナラフヲモ忘レ居タ
リナリ。道鏡山ニテ休息セント思ヒニガテ
トナリ心セカテ終休マス。園子取マテ来レ
ル所ニ正午ナレバ膝ハ空股ト云フ程ナラシト
モ何カ食ハレテ衣ニ疑ヘドモ正服ニテ入り得
キモナレ。ヤブ叢叢考ハ眺望モヨシ休裁モ
ヨシ別女遣テカカお安ト云フ女モ居タ笑ナ
ト盃引ツケンカト思ヒニガテ自昼一人デハ
ドヤラ淋シクテ面白カラズ終ニ家ニヨリタルガ
コトヲ記シテ行一ツ懐ニ竹モナレバ得ル所モ
ナレ只ヨク空気が呼吸シタルノ一快子ノナリ
昼寝ヲ終リテ今迄ハズボシテ取リカヘテ出
カケツコトハ今マテ居タルズボンニハ腰ニ穴アリ
歩シテ指ニツカグ見テ心ヒリカ不喜アリガ

今迄、穴ノキズボンヲ穿ケタリマダ夏ヲ又カキテ
舞臺余ヲ靴化シモガキタリ、余モ大々見ヘ坊ナリ、
然リ莫ク見ヘ坊ナリ、サリナガリコノ位ノ見ヘ坊ナ
進ニモアリソト自ラ整メテ居ル。坊ナリモナ
ク本堂ニ坊ニ又ゴブリナハキ坊ナリセント云フニ
本堂モ變成シ共ニ山岡、中山、田中ヲ坊ナリナ
不在ナリ固テ余ノ向島ニ行カンヲ勸メ本堂大
ニ素ヒまヨリ直キ向島ニ赴キ堤ノ上ニ坊ナリセ
リ行キカウ人職ノ如シ長知寺前ノ茶屋ニ例ノ
お六居リコノ能ハ余ヲ促シ、トコガズクお六人
ト云フ風ナリ、長知寺内ニテカノ餅ヲ食フ甘
キヲ甚シまヨリ竹屋ノ派ニテ坊ナリ寺ノ奥山ニ
入リ余ハ時々美人ヲ眺メテ歩ク後クスル
アレモ本堂ノ近所ナハ一向ニ頓着セスシテ坊
ト歩ム余ハ實ニ公園ヲ一回ニ運コバ菊人
形ヲモ促シト云フ例ノ小見心アリシモ本堂
ノ例ニテ果サス然レモ本堂ノ内ニ坊ナリ本堂ナ
カセバ余ハ浅草内ヲグル廻リシ鈴木位テ夕
食ヲ忍ビ一盃飲嫌ヲデモナレバ今日頃、案ノ
全ク無クナルヲ尺ナレバ本堂ト寺草ヲ去リ上
野ノ経テ家ニ回リテ嗚呼网友ノ持ッベキモノ
カレ余余ニ河合武次ト曰カレ見ヨ、始終夏

人ノ跡ハノ道ヒ下ラステ道ニ対シテ一盃ヲカ
シト上ハ中々只テハリヨラヌナリ奥山ノ柳サテ冷カ
ヌナドハ甚ク不体蓄ナルニ非ズヤ。又江原ト同
リスルニセバ必ス大ニ飲ミ或ハ正服ヲ着ニ居
ルヲ忘ルニ至ルヲアラン。又足ト脚ヲセテコ
コトバ案ニヨシ二人ノヲ見セ物、狂言ノ
立サテ見トシタルナラン。嗚呼ヤンヤクニモルニ
セン、我トガリ取ルニ、我ニ、世人余ノ目ヲ正正堂
道徳堅固、學識博博、見識高尚トマデハ行カ
ズトス免ル由業ハ見テ受ル、而シテ其内心ノ
卑劣斯ル如シ、抑ニ又惑ハニ哉、然レ後余ハ
一片ノ忍耐カマツコノ力無ク、萬ノ業廢ニ勝ツ、余
ノ忍耐カ屋ハ、即チ余ノ學業地ニ墜ルノ由、
余ノ業業ハ余ノ余ノ忍耐ナリ、然レ後余ハ自ラ
期ス、余ハ永久余ノ忍耐ヲ持續セニコナリ、嗚
呼人ヲ見、難キハ自ラ余、一身ニ徴シテ之ヲ知ル、
彼ノ道徳堅固ノ人儼ハ、僕ノ僕スベカラザルナリ。
穴賢コ穴賢コ。

二十六日(月)下

午のヨリ同書録及日本録刊、归途
和田へ立寄リ夕归途久延滞ハル程
宗三出テ對面、是ト江分騰ニ飲ミ更ニ
スナニ飲ム十一時归ル

二十七日(火)下

正午駒場下丁目へ赴ク余ノ初智録記
席又中庭度、強ク雲層トセニ心ノ十
様正ニ行ルハ氣心ツカサバ余ノ一
地層ナリ穴カコ余ノ巨ハ慶ク運慶ハ
午のヨリ同書録、見宗三出テ對面、是ト江分騰ニ飲ミ更ニ
スナニ飲ム十一時归ル
コノ日作紙試験、ナニナリナニヤ六石ハ
幅員 3650、身長五尺六寸ナリ

二十八日 (水)

午前十時三十分大塚ヲコレ即ハヤ今日ノ
濃霧大寒ノ餘熱ナルハ午後ノ思ヒ合カケ
ル今日モ早朝ヨリ涼雨シキリ降リキ
リケレバ外出セシテ由ナク陸路ニ在クテ
著作ニ従テ居ル

廿九日(木) 丁

今日辰野先生、備我、園に於て登校に於て
昨日、地震に於て王子、相模マダケの穴ニテ
シ、識作り会ト山下、天井ト二年上辰野氏の
王子へ出がテ硫磺線送所、相模、穴ニテ
シテケルタニ、辰野先生、辰野先生、辰野先生、辰野先生
午ニ遊ケルバトテ辰野先生、辰野先生、辰野先生、辰野先生
昼飯ヲフルマヒケル辰野先生、辰野先生、辰野先生、辰野先生
テ辰野先生ニ到リ王子ヨリ直ケル辰野先生、辰野先生、辰野先生、辰野先生
電燈管管柱ニ赴キ小堀、辰野先生、辰野先生、辰野先生、辰野先生
湖ニ於テ飛杖ノ研究ニ教ヘ入リテ在テ辰野先生、辰野先生、辰野先生、辰野先生
夕飯ヲ食サシメテ辰野先生、辰野先生、辰野先生、辰野先生

三十日(金) T.

夜中戸外に火が(ト叫声ヲ)余驚キテF5アケ
 見レバ直向ニ、家ハ早稲火ニ包ラル其勢
 瀉マシヤドモ愚ナリ余ハ兄ヲ呼ビ起シ手早ク
 常司ヨリ夜35キ出シテ必用書取ヲ入レ足ト共
 コカキ出シアハアニテ書取ヲ投ケ下サントセシガケ
 階ヲ付ケ下マテ隠ビ出セリコト片家中上3下
 ハトカヌ斗ヲコ駈キ廻ルツノ根根混雜一方
 ナラズ余ト足トハ正服ヲケ必用書取ヲ急
 出シ尾ニテ夜具、机具等ヲ襖ニシテ中
 條、釣木、小鉢、山岡、草履ハ兄ニ来リ中條
 ハ一心不乱ニ手付ト負レリ幸ナル哉風正
 南ハ吹キテ火ノ勢ニ阻テ逃レリ夜
 風ハ頃火全ク収メ畑、土倉、田中、内村、下子、
 草押、南雲等ヲワケ見舞ニ来リ余ハ火ニ症
 者セシヨ他ノ室ノ人ト違ヒテケニモ種火損害等
 不都合ハナカシ今日お田ヨリ召伏来ニテ村
 行カントスルニ何合致テ来リ後ニ復シ西
 条ノ橋迄ヨリ余等ニ送リ来リ松澤ヨ一人
 ン食ヒ居シル由信々(不都合中カ方又ナリ
 夕刻何合ニ村幸田ヨ行ヒ夕飯ヲ食フ用
 事ハ郵便文信氏ノ一件ツ来リ真水

3552 折ル今泉嘉一氏東リ合セ大ニテ
流リ極ム三人喜ニ出テ路ニ松幸ニ飲ム合
明永二十二年十月十七日以來松幸ニ東リガル
カ久シクテ妻ヲ見ハ 婢ハ一人ヲ陰ニ外皆代
リ果テ娘ハ矢張り家ニ戻リテ 吾ルニ合シ
ル後今泉ト別シ余ト直ニト對面シテ路ニ上
野へ行キ電燈ノ下ニ 色ニテ遊ス一ツ不詳
ニテ二人上野ヲ出テアル ソバ屋ニ入リ
兄ハチヨリコヘ東合セタリ 何トテ期ク 吾
人ニテ東ルキト云フニ 今日卒業ニケルモ
カニ氣遣セシ 吾ニテ今迄只折リ 家ニツ
ヤ戻ルヲトナリ 余ハ大ニ喜ニ其ニ大ニ飲ニ
大確ニ至リテ家ニ別ル 時ニ午當ニ時ニ迄

三十一日(土) 夕

朝山下ヲ行ヒ其ニ同出ルルニ午後同村ヲ過リ
不在ナリ中ノ當リ所ニ大ニ倦レテ去テ江ノ上
行ク不在ナリ去テ下條ヲ過リ又不在ナリ即チ
家ニ向レバ見ヨリ振状アリ玉田ニ来レト即
ハ玉田ニ赴キ見テ佐藤ト御佐ト矢高ト松
幸ニ赴ク實ニ今金位ヲモリ此日本料理
ニシテ其ノ夜中明ナリ松幸ヲ出テ見テ二人
ニテステドニ入リ大ニ飲ミ鈴木某、伊藤屋迄
二人ニ逢ヒ大ニ倦レテス家ニ向レテ十一時ニ至リ

十一月一日(日) 木.

今日ハ好天気! 上ニ日曜ルハ午時ハ時ヨリ午後
午ニテ後夜給ルヲ休ニお礼スルツツツツツツ提ヲ
王子、屋ノ川江へお参ニ出カケテ王ノ提理
ヲ寫セシメヨリ、滝川、お参ヲ終ルニ後、午ニテ
上野へ行キ、公園内ノ映画展覧會ヲ見シテ長
島法學士ニ逢ヒ久シクツツツ大ニお禮ニ共ニ油画
ヲ品評ナリ、又ヨリ同村ヲ訪ヒ色ニ睦ニ
キ行禮スルアリ、文學上ニ尤モ面白キヲ見モアリ、又シ
ヨリ二人會同テ以リテ飲食ニ喫甚ク大ニ
ノ家ニ伺ヒ、尾崎先生ニ参リ、ヤガテ非名ヲ
傳ヒ、氏來リ大ニお禮スル、午後時ヨリ十一時
余程ニ就リ

十一月二日(月)

八時起キ九時家ヲ出テ陸奥大臣ヲ訪フ別
荘子伴ヲ訪ニ大臣不在ニテ執事ニ面會シ
色ニ決シカハ所 農商務省計長 芦原氏ニ
テ預リ知ルニ云フ 即ハヤ 津保町 松幸ニ
腹ヲコレニ 先フ日本銀行ニ赴クニ 葛西ニ
田島ニ不在ニ 何處ヘト向ヘバ 尾濃ヘ地
震研究ニ今朝出立、山下氏ニ月サセト云フ
余之ヲ聞キハ 甚ク勤キ早ニ銀行ヲ歸シテ
芦原氏ヲ 農商務省ニ訪ヒ 用務ヲ終リ 夫レ
ノ如シ 河合ヲ訪ヒテ 明日 東京 榮尾 農務
ヲスノントスルニ 不在ニ一書ヲ殘シ 眞水ヲ
訪ヒ 全ク 書ヲ殘シ 家ニヨリ 夜ニ入リテ
眞水來リ 金銭上ノ 關係ヲ行キ 難シト云フ
自應テ 山下、菅村ニ 氏來ルニ 余ハ 山下ノ 未ダ行カ
ルニ 智キ 即チ 同サニ 勸ムニ 何ダカ 利然タ
ル 羨ラサズ 世ヲ決シ 中島 廣次ニ 対シ
費ニ 十時 終ルニ 十一時 寢ニ 就ク
三日ヨリ 九日マテ、日記ハ 別冊ニ 書ク
カケル

十一月十日(火)?

正午八分起キ芝ノ田ヲ訪ヒ各父母ニ震
地ノ異況ヲ告テ正午家ニ帰リテ昼飯ヲ食メ
全キ午後ハ室内ノ整理ニ用キ居リテ餘
可クナリ全キ夜ハ溜リ留リテ夜ニ
留守中ニ席ヲ在リテ事務ヲ取ツバキ及ヒ
色々ナル仕事ニ費セタリ

十一日 (水) 午

川時起牛回古館に赴き板屋構造に欠け欲て
足場危ぶり果サス夫より登坂大野敬指燈
ヲ震地云ノ景況ヲ説ス大野氏余勸テ
日々子何ヲ建べい景況ヲ説ス大野氏余勸テ
全大責ト正午迄に何ヲ突噴ト一篇ノ草稿ヲ
徳ノ院ニ三ツ家ヲ出テ午ノ時ノ玉川亭ニ赴
リ中田由次ノ遺稿ヲ聞カスナリ日毎スルモノ
有る存案成案及通申等及全トテ三十余名ヲ
中田諱トシテ遺稿ノ就活上ニ投票シテ序
論トシテ相付に於てハ面白カス日暮中田由次
等ヲ從ヒて説ク聞スル異件案ヲ讀見ク一稿
聞論毎ナリト果ッベトラスハ時頃測りテ上
クテ毎ニ就テ余ハ宍島幹之助トアル島内志
入リテ大ニ快活シ余ハ大ニ勝ヒテ就ニヨル島
余ノ當リ説スル一トナリテリト十一時鐘ニ
就ク

十二日(木)才。

八時起、中山茂孝氏来訪、余は笑日、病にかつ今日全治、云ふ、余備か、地震、地者、大、變、九時、中山、去、余、直、出、家、出、又、新、布、二、至、又、備、正、臣、氏、訪、つ、二、往、け、お、歸、來、せ、去、つ、農、務、者、二、赴、つ、芦、原、将、軍、訪、つ、余、の、情、水、備、之、ゆ、代、理、高、橋、傳、志、氏、來、つ、其、二、陸、奥、氏、軒、電、工、事、の、話、を、話、す、所、つ、十一、時、日、中、飯、を、食、つ、葛、西、學、士、の、見、ル、由、余、一、篇、を、示、し、對、方、投、せ、つ、計、九、葛、西、氏、曰、つ、甚、可、つ、只、早、急、に、要、す、君、名、を、成、す、實、今日、の、つ、余、大、喜、と、云、歸、つ、直、に、草、稿、を、修、正、せ、ん、と、云、ふ、レ、得、す、余、一、云、失、望、措、つ、可、つ、矢、も、云、ふ、已、に、奮、然、更、に、腦、を、絞、り、別、一、篇、草、稿、を、作、つ、日、没、す、ん、と、終、ん、余、即、ハ、之、を、携、へ、行、つ、山、下、訪、つ、ト、田、中、苗、氏、書、を、送、つ、余、を、拒、つ、余、先、づ、山、下、訪、つ、中山、高、井、兩、氏、已、に、在、り、山、間、亦、東、り、一、戸、大、盛、つ、田、中、其、妻、女、ヲ、呼、び、余、等、二、候、外、又、妻、女、ハ、那、珂、氏、丈、人、妹、に、行、つ、殿、密、色、の、若、紀、正、十、有、七、十、り、已、に、別、つ、山、下、訪、つ、大、に、論、究、し、得、ん、所、ナ、ク、流、す、山、下、岩、崎、の、終、り、豊、國、一、酌、を、催、し、十、時、家、に、歸、り、草、稿、を、修、正、し、十二、時、後、に、終、り

十三日 (金)

八時起 字寫の修正に直り 昨日の多量に赴き
葛西字士に逢つた字寫の事と多ク修正あり
アリ 正午の読書と看合に三時自腹踏 葛西
氏 援助の得た直り之のコンヤ印刷十冊書
り得た日 役スルに此の路り 山下一歩等に
十時 嵐の如く十一時 庵の付キタリ

十四日 (土) 七

午過ぎ 曇り 正午の快晴に宛島幹の助 余の病
即ハ先と尋ね大寺 蓮朝寺に臨み 見たり 尚十かじ
去り 宛島に浅草の社あり 境宮園の事 百義人の見ナ
ドに快報ナレ。園の下り 花を遊り 見物に 遊
向島に 里の竹を 汲り 汲り 歸園に 此の豊園管の夕
食に 喫し 室に 歸り 又直り 若竹亭へ 赴き 庵の 残り 同
く 十時 宛島 歸り 余の 明月の 十時 十時 十時 十時
十一時 十二時 裏の 庵に 遊り

十五日(日) 可.

午子八時宮崎余行初 安し石川100番に赴
キ長谷印信以印氏、追悼會、既い分ルニ
ルテ、四十番員正午宮に印ヲ中ニ集テ宗ヲ出テ
お田ヲ行ヒ、印余ヲ語ニ以テ久シク長島ヲ
印代ヲ語テ大ニ喜ビ余ト好シク問子坂ニ赴
キ菊ヲ飲ニまレテ海軍公園ニ赴キ一直ト云テ
神尾虎之助ニ飲ム余必ニ大ニ喜ッテ日ヲ終テ
一和人にテ世以スルヲ止メテ暇ハ一人トシ
世ニ感ニキト又日ヲ終ニ心身共ニ清淨潔白ト
學子上、沈學亦甚ク可ク所歎ハ君益ニ為ラ
謹ニ誓テ神聖公明、偉人トシ余深ク忠告ヲ
盡シテ歸途明月ヲ踏ニ初ニ夜ヲ以テ在テ宮ニ入
不地時、玉突ニ入レ不括印物、運士等在リ
別ニ一人アリ餐餐少ク出レ不括等、尾ヲ下
來ニ酒氣ヲ帯ビリケレ、疑ニバシ長島余ニ告テ日
供行ニ可ク定メ居リ歸ル心ニマナリ、余ニ無ク
「驚キ不括等亦タ果然ト余ニ告テ長島ニ懇行」
後々今アコト一書ニテ余ハ彼ヲ愛シテ甚クキ余佛
然トシテ去ル 御座ビールハ又ニ飲ニ 秋山、中
雨降生テ雨聲ニ聞テアリ大陣ニ家ヲ歸リ居
訖ヲ

陸路トシ東路ニ夜以テ田中、中山、山岡
東路ス、最ル同村ニ居ル東路ニ三人家
ヲ出テ先ニ本郷、コセ一家ニテ宿テ
シ廣大、長ニ又ヨリ三人上野、包ニ寄
テ同村ニテ同村ニ到シ余ト江ヲ
トテソバ酒ニ入リ小飲シ別ニ去リ
リ別宿ニテ、10時ニ至リ余昨夜未
喧騒騒々ニ極メ今夜静ク余カ空寒
ニ衣履ニ入レバ轉テ物足ラズ心地
ノ空ク昨夜ノ追憶ニ假夢ヲ誅セ
ル

十八日(水)

早朝本堂東へ九時帰園海へ赴き集談院
見物夫の梅草花見正午家へ帰る
直ぐ西へ原へ赴き縄張せり日暮家へ
滝井、本堂、中山来り大いり況又十時ヨリスト
ニ出カテ十一時家へ帰リテ寢ル

十九日(才)

午寄老授醫同 午好合町夜入入田了
汚に次中村 甚右即芝生、汚七十時
園、松亭、登リ酒肴、命家、归リ
種、就、

19

手田, 中越 松本

19 王子宮, 松本, 下田, 成, 松本, スト
79 (松本)



21 文部省, 西宮, 日比, スト, 松本

山ノ下

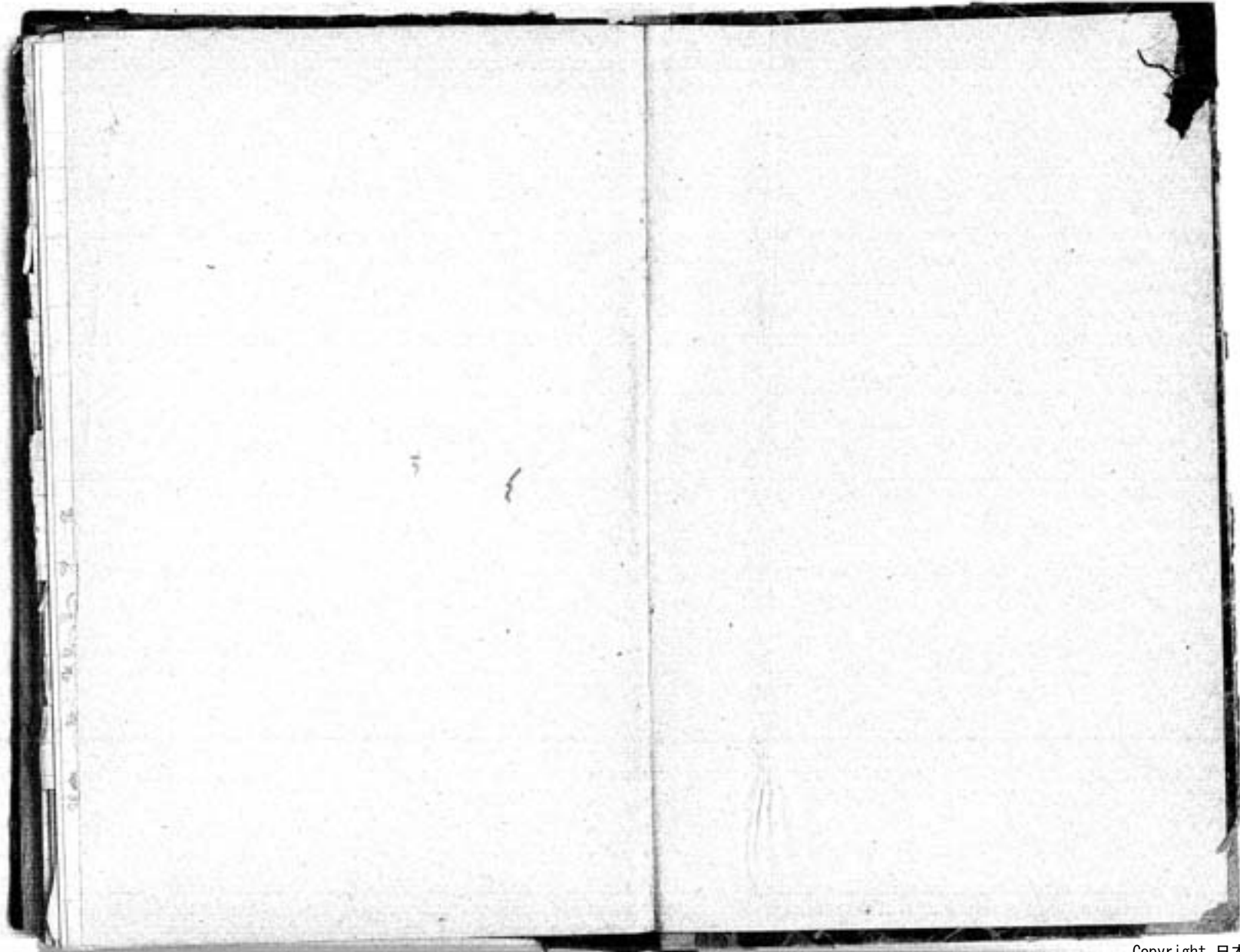


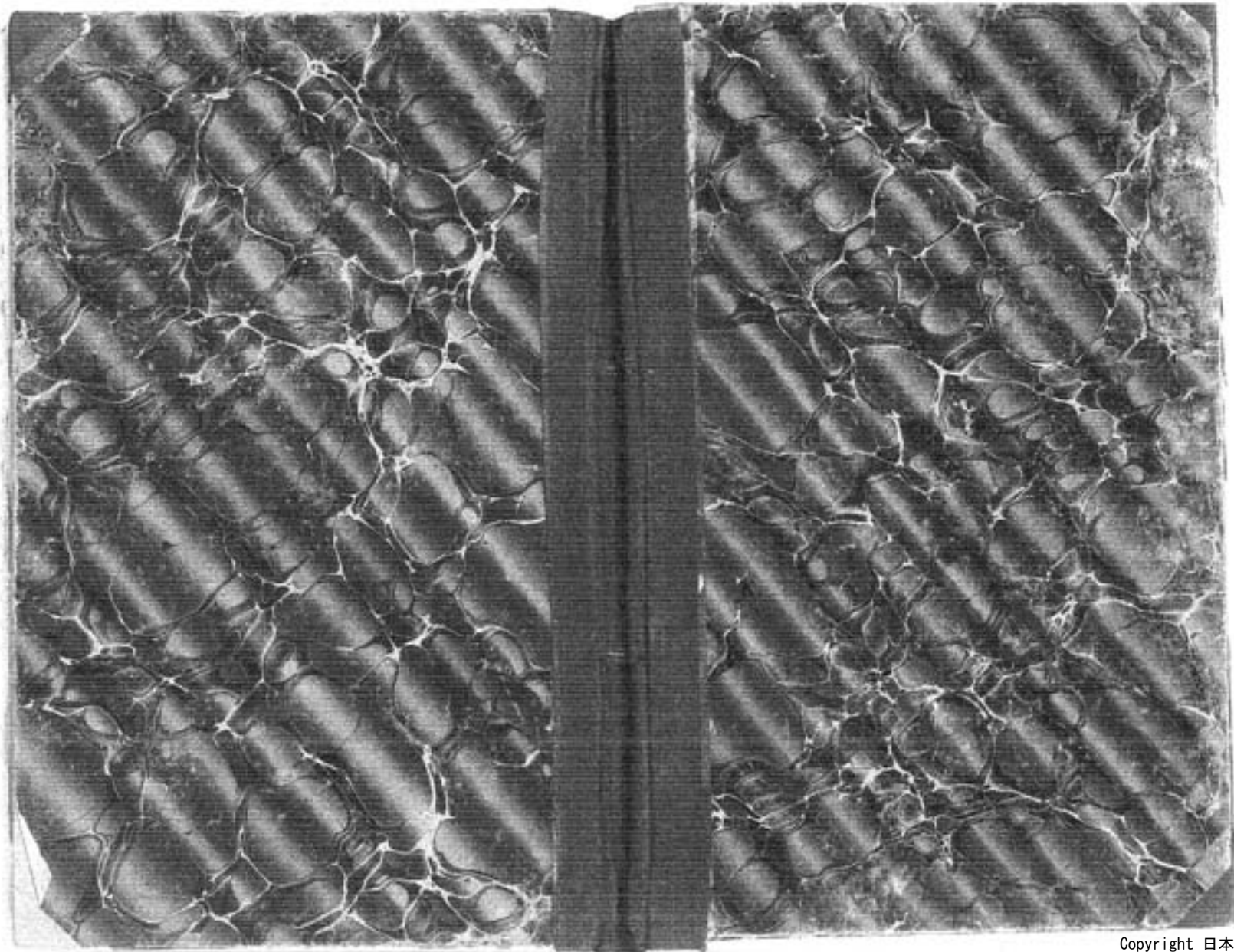
二十日(金)

早朝の星夜松本回。松本に三時頃
四時頃久留米駅。久留米、藤原の
殿に銀のバット。久留米に陸軍大
隊の所。酒及ヒ晩飯。馳
走ス。六時頃。藤原に到リ。松本
懐に。松本に出カケ。松本に野原。松
本大に飲。且ツ食ヒ。小史云。ベカラズ
十一時。松本に到リ。松本。運河。十二
時。泥路。松本。驚。腹。松本。
奇。夢。三。松本。十二時。上。松本。〇〇
ノ。夢。松本。一。松本。美味。松本。
云フ

Handwritten Japanese text on a lined page, oriented vertically. The text is written in a cursive style and includes several lines of characters, some of which are circled or underlined. The page is part of a notebook with a dark cover visible on the left edge.

A blank, lined page from a notebook, oriented vertically. The page is mostly empty, with faint horizontal lines visible across its surface. It is part of a notebook with a dark cover visible on the right edge.





12

12

M.24. 8.06
~ 11.20

うきよのたむ